

「平成27年度全国学力・学習状況調査」の結果の概要について

1 平成27年度全国学力・学習状況調査実施状況の概要

本年4月21日（火）に、全国の小学校第6学年・中学校第3学年の全児童生徒を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施。

○教科に関する調査として、国語、算数・数学、理科の調査、質問紙調査として、児童生徒及び学校に対して、生活習慣や学習環境等について調査を実施。なお、理科については、今年度初めて悉皆で実施。

○本県の調査実施校は、公立小学校810校、公立中学校388校の合計1,198校（特別支援学校含む）。

2 結果の概要

○教科に関する調査について、本県の公立学校の結果は、正答数及び平均正答率について概ね全国平均と同程度。児童生徒の正答数の分布状況も全国の状況とほぼ同様。

○教科区分別調査結果（県平均正答数及び県平均正答率）

※平均正答数及び平均正答率の、上段は千葉県（公立）、下段は全国（公立）を示す。

平成27年度

小学校	平均正答数	平均正答率(%)	中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識) <全14問>	10.0 9.8	71.5 70.0	国語A(知識) <全33問>	25.1 25.0	76.0 75.8
国語B(活用) <全9問>	5.8 5.9	64.5 65.4	国語B(活用) <全9問>	5.9 5.9	65.7 65.8
算数A(知識) <全16問>	12.0 12.0	74.7 75.2	数学A(知識) <全36問>	22.8 23.2	63.4 64.4
算数B(活用) <全13問>	5.9 5.9	45.1 45.0	数学B(活用) <全15問>	6.2 6.2	41.6 41.6
理科 <全24問>	14.9 14.6	61.9 60.8	理科 <全25問>	13.0 13.3	52.0 53.0

<参考> 平成26年度

小学校	平均正答数	平均正答率(%)	中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識) <全15問>	11.4 10.9	75.8 72.9	国語A(知識) <全32問>	25.5 25.4	79.8 79.4
国語B(活用) <全10問>	5.5 5.5	55.5 55.5	国語B(活用) <全9問>	4.7 4.6	51.7 51.0
算数A(知識) <全17問>	13.3 13.3	78.2 78.1	数学A(知識) <全36問>	24.0 24.3	66.7 67.4
算数B(活用) <全13問>	7.6 7.6	58.8 58.2	数学B(活用) <全15問>	9.0 9.0	60.1 59.8

<参考> 平成24年度

小学校	平均正答数	平均正答率(%)	中学校	平均正答数	平均正答率(%)
理科 <全24問>	15.0 14.6	61.8-63.3 60.8-61.1	理科 <全26問>	13.0 13.3	49.4-50.9 50.9-51.1

※平成24年度は抽出調査のため、平均正答率については、誤差も含めた数値の幅「95%信頼区間」で示している。

3 本県の結果公表の在り方について

「平成27年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」の内容を踏まえ、結果分析を主とし、これまでの取組の成果と課題を把握し、今後の県教育施策の改善及び児童生徒の全般的な学習状況の改善を目的とした結果公表を行う。

なお、県として市町村ごとの結果公表は行わない。

4 今後の対応

- 今後、国からのデータをもとにさらに詳しく分析し、概要をリーフレットにまとめ、10月中に各学校や市町村教育委員会に配付するとともに、11月の学力向上月間を中心に「学力向上交流会」を開催し、県内8会場で分析結果や今後の学力向上に関する取組について説明する。
- 県が作成した独自の結果分析ツールを市町村教育委員会及び学校へ配布する。それぞれの立場で結果分析ツールを積極的に活用し、調査結果の分析を行い、学力向上への取組が実施できるよう支援する。
- 「ちばっ子『学力向上』総合プラン」の各事業の充実・推進に努める。
 - ・「学力・学習状況」検証事業で指定した、小中学校の検証協力校15校において、全国学力・学習状況調査等のデータをもとに、継続的な検証改善サイクルを確立し、取組事例等を「学力向上交流会」などにおいて県内への普及を図る。
 - ・「学習サポーター」派遣事業として、検証協力校を含め、県内小中学校へ学習サポーターを派遣し、授業や放課後等の学習支援、家庭学習などの充実に努める。
 - ・「ちばっ子チャレンジ100」など、県教育委員会で作成した学力向上に関する各種問題、資料集等の活用をさらに促進し、課題克服に努める。

<参考>

○調査結果の取扱いに関する配慮事項

(文部科学省「平成27年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」より)

調査結果については、調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。調査結果の公表に関しては、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である一方、調査により測定できるのは学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。このことを踏まえ、具体的な公表の手續等は、以下のとおりとした。

- ◇ 市町村教育委員会(学校の設置管理者)において、それぞれの判断で、実施要領に定める配慮事項に基づき、個々の学校名を明らかにした調査結果の公表を行うことは可能であるとした。
- ◇ 都道府県教育委員会において、市町村教育委員会の同意を得た場合に限り、実施要領に定める配慮事項に基づき、当該市町村名または当該市町村教育委員会が設置管理する学校名を明らかにした調査結果の公表を行うことは可能であるとした。
- ◇ 教育委員会等において調査結果を公表する場合の配慮事項として、

- ・公表内容・方法等は、教育上の効果や影響等を考慮して適切なものとなるよう判断する。
- ・単に平均正答率等の数値のみの公表は行わず、分析結果を併せて公表する。また、分析結果を踏まえた改善方策についても公表する。
- ・市町村教育委員会において個々の学校名を明らかにした結果の公表を行う場合は、当該学校と公表内容・方法等について事前に十分相談する。なお、平均正答率等の数値を一覧にしての公表や各学校の順位付けは行わない。
- ・児童生徒の個人情報保護や学校・地域の実情に応じた必要な配慮を行う。

ことなどを定めた。

- 文部科学省提供資料については、国立教育政策研究所のWebページから入手できます。
(<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>)

教科区別の平均正答率等の経年変化 —教科に関する調査—

※平均正答数及び平均正答率の、上段は千葉県（公立）、下段は全国（公立）を示す。

平成27年度

小学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識) ＜全14問＞	10.0 9.8	71.5 70.0
国語B(活用) ＜全9問＞	5.8 5.9	64.5 65.4
算数A(知識) ＜全16問＞	12.0 12.0	74.7 75.2
算数B(活用) ＜全13問＞	5.9 5.9	45.1 45.0
理科 ＜全24問＞	14.9 14.6	61.9 60.8

中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識) ＜全33問＞	25.1 25.0	76.0 75.8
国語B(活用) ＜全9問＞	5.9 5.9	65.7 65.8
数学A(知識) ＜全36問＞	22.8 23.2	63.4 64.4
数学B(活用) ＜全15問＞	6.2 6.2	41.6 41.6
理科 ＜全25問＞	13.0 13.3	52.0 53.0

【参考】

平成26年度

小学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識) ＜全15問＞	11.4 10.9	75.8 72.9
国語B(活用) ＜全10問＞	5.5 5.5	55.5 55.5
算数A(知識) ＜全17問＞	13.3 13.3	78.2 78.1
算数B(活用) ＜全13問＞	7.6 7.6	58.8 58.2

中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識) ＜全32問＞	25.5 25.4	79.8 79.4
国語B(活用) ＜全9問＞	4.7 4.6	51.7 51.0
数学A(知識) ＜全36問＞	24.0 24.3	66.7 67.4
数学B(活用) ＜全15問＞	9.0 9.0	60.1 59.8

平成25年度

小学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識) ＜全18問＞	11.1 11.3	61.9 62.7
国語B(活用) ＜全10問＞	5.0 4.9	50.1 49.4
算数A(知識) ＜全19問＞	14.7 14.7	77.1 77.2
算数B(活用) ＜全13問＞	7.7 7.6	59.4 58.4

中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識) ＜全32問＞	24.4 24.4	76.2 76.4
国語B(活用) ＜全9問＞	6.1 6.1	68.1 67.4
数学A(知識) ＜全36問＞	22.7 22.9	63.2 63.7
数学B(活用) ＜全16問＞	6.6 6.6	41.5 41.5

平成24年度

小学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識) ＜全17問＞	13.9 13.9	80.9-82.3 81.4-81.7
国語B(活用) ＜全11問＞	6.3 6.1	56.4-58.3 55.4-55.8
算数A(知識) ＜全19問＞	14.0 13.9	72.6-74.5 73.1-73.5
算数B(活用) ＜全13問＞	7.8 7.7	59.3-61.3 58.7-59.1
理科 ＜全24問＞	15.0 14.6	61.8-63.3 60.8-61.1

中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識) ＜全32問＞	24.0 24.0	74.3-75.5 75.0-75.2
国語B(活用) ＜全9問＞	5.7 5.7	62.9-64.2 63.2-63.4
数学A(知識) ＜全36問＞	22.1 22.4	60.5-62.2 62.0-62.3
数学B(活用) ＜全15問＞	7.3 7.4	47.7-49.9 49.2-49.5
理科 ＜全26問＞	13.0 13.3	49.4-50.9 50.9-51.1

平成22年度

小学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識)	12.5	82.7-84.2
<全15問>	12.5	83.2-83.5
国語B(活用)	7.8	77.2-79.2
<全10問>	7.8	77.7-78.0
算数A(知識)	14.1	73.1-75.1
<全19問>	14.1	74.0-74.4
算数B(活用)	6.1	49.7-51.7
<全12問>	5.9	49.1-49.5

中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識)	26.4	74.8-75.9
<全35問>	26.3	75.0-75.2
国語B(活用)	6.7	65.8-67.3
<全10問>	6.5	65.1-65.5
数学A(知識)	23.0	63.0-64.9
<全36問>	23.3	64.4-64.8
数学B(活用)	6.1	42.2-44.3
<全14問>	6.1	43.1-43.5

平成21年度

小学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識)	12.8	71.0
<全18問>	12.6	69.9
国語B(活用)	5.1	51.3
<全10問>	5.1	50.5
算数A(知識)	14.4	79.8
<全18問>	14.2	78.7
算数B(活用)	7.9	56.3
<全14問>	7.7	54.8

中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識)	25.3	76.8
<全33問>	25.4	77.0
国語B(活用)	8.2	74.6
<全11問>	8.2	74.5
数学A(知識)	20.3	61.6
<全33問>	20.7	62.7
数学B(活用)	8.5	56.7
<全15問>	8.5	56.9

平成20年度

小学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識)	12.0	66.7
<全18問>	11.8	65.4
国語B(活用)	6.2	51.4
<全12問>	6.1	50.5
算数A(知識)	13.8	72.8
<全19問>	13.7	72.2
算数B(活用)	6.9	53.2
<全13問>	6.7	51.6

中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識)	24.8	72.8
<全34問>	25.0	73.6
国語B(活用)	6.2	61.6
<全10問>	6.1	60.9
数学A(知識)	22.2	61.7
<全36問>	22.7	63.1
数学B(活用)	7.4	49.1
<全15問>	7.4	49.2

平成19年度

小学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識)	14.8	82.2
<全18問>	14.7	81.7
国語B(活用)	6.4	64.0
<全10問>	6.2	62.0
算数A(知識)	15.8	83.2
<全19問>	15.6	82.1
算数B(活用)	9.1	65.0
<全14問>	8.9	63.6

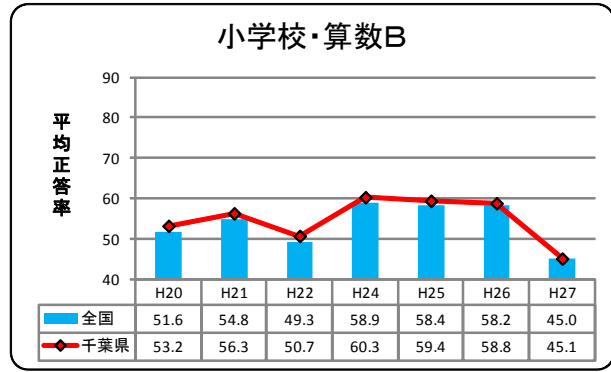
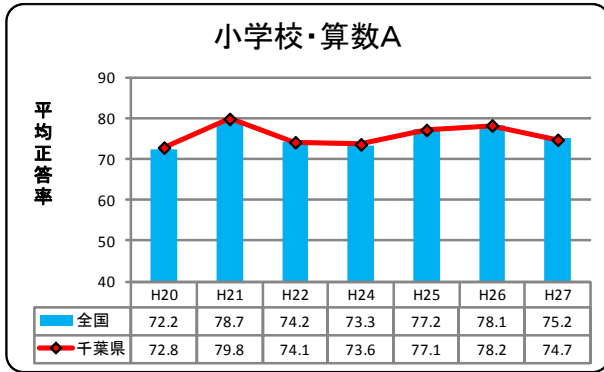
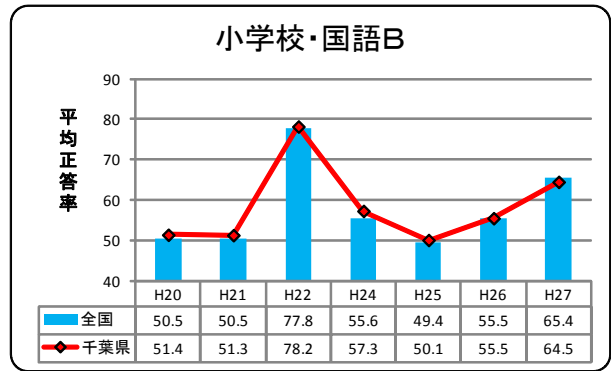
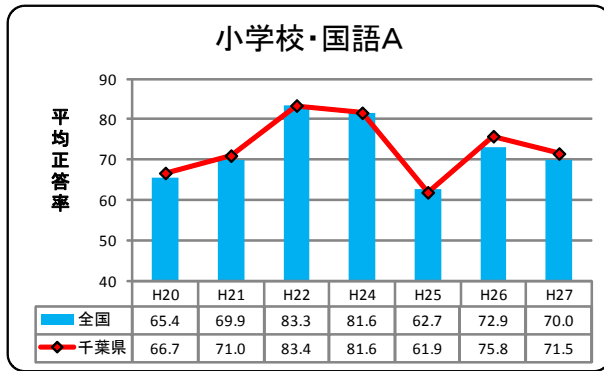
中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識)	30.2	81.6
<全37問>	30.2	81.6
国語B(活用)	7.2	72.0
<全10問>	7.2	72.0
数学A(知識)	25.2	70.0
<全36問>	25.9	71.9
数学B(活用)	10.2	60.0
<全17問>	10.3	60.6

※平成22年度、平成24年度は抽出調査のため、平均正答率については、誤差も含めた数値の幅「平均正答率の95%信頼区間」で示している。

※平成23年度は震災の影響で実施せず。問題の配付のみ。

全国の平均正答率と千葉県の平均正答率（過去7年間）

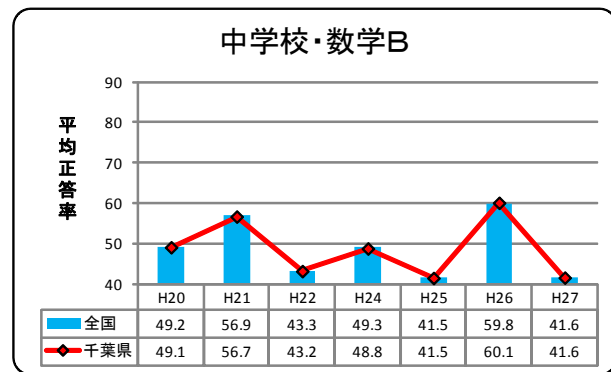
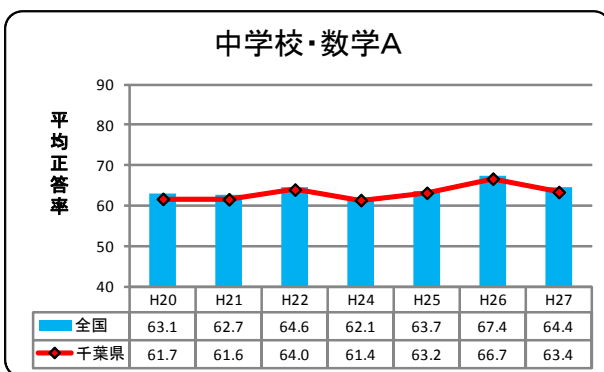
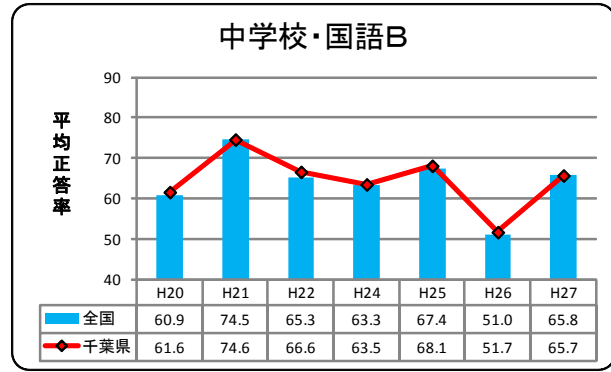
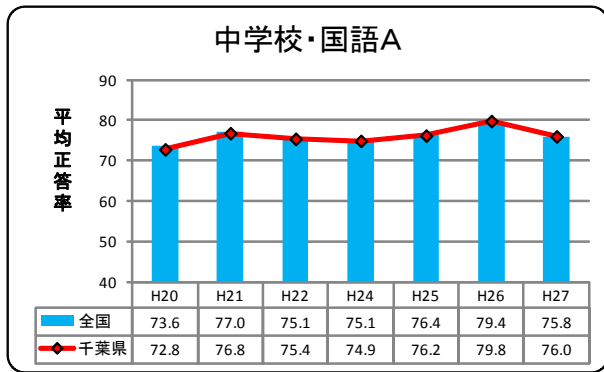
（小学校）



※数値の単位は全て%である。

※平成22年度、24年度は抽出調査のため、平均正答率については誤差も含めた数値の幅「平均正答率の95%信頼区間」の中央値で示している。

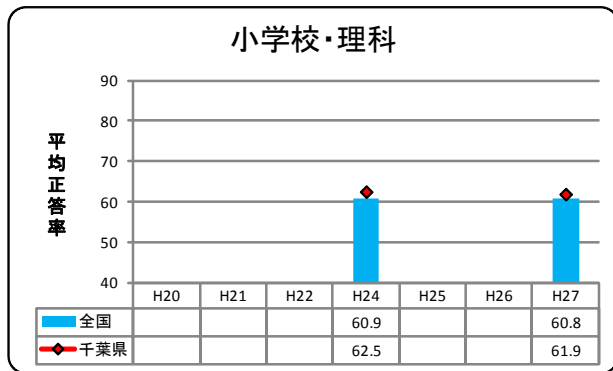
（中学校）



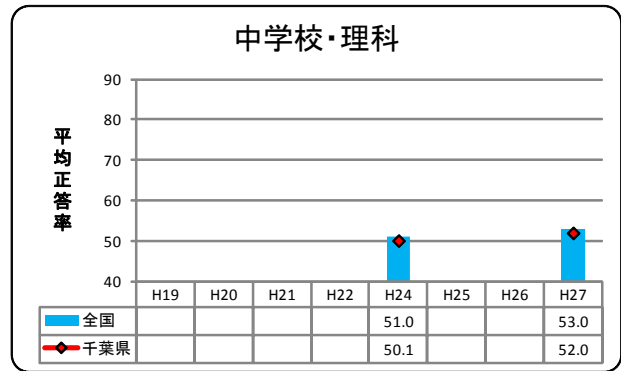
※数値の単位は全て%である。

※平成22年度、24年度は抽出調査のため、平均正答率については誤差も含めた数値の幅「平均正答率の95%信頼区間」の中央値で示している。

(小学校)



(中学校)

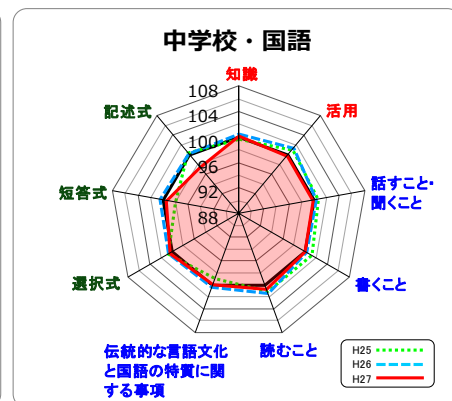
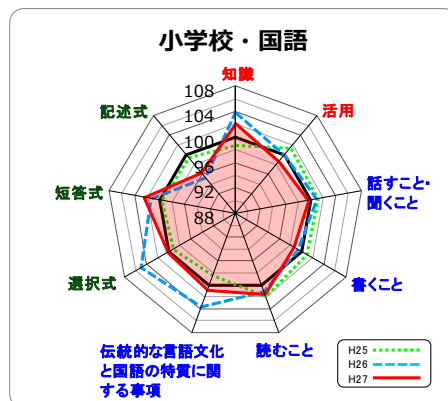


調査結果に見られる傾向

教科に関する調査から

【国語について】

- ・右のチャートは、全国平均を100としています。
- ・結果の推移を見るため、平成25、26年度の結果も表示しています。



○小学校

- ・「A問題」は全国平均を上回っており、「B問題」は全国平均と同程度である。

【本県の平均正答率（全国との差，ポイント）】

「話すこと・聞くこと」	A問題：千葉 52.8% (-0.2)	
「書くこと」	A問題：千葉 86.6% (+0.6),	B問題：千葉 59.9% (-1.2)
「読むこと」	A問題：千葉 59.0% (+3.8),	B問題：千葉 67.1% (-1.0)
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」	A問題：千葉 77.8% (+0.6)	

- ・「読むこと」の領域が全国平均をやや上回っており、特に文章の表現の工夫を捉える設問が全国と比べ良好である。

国語A 5 二 新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える 千葉 33.0% (+13.2)

- ・問題形式の「記述式」が昨年度に引き続き全国平均を下回っており、継続した課題である。

国語B 1 三	目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く	千葉 32.4% (-2.3)
国語B 2 二	目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉える	千葉 76.9% (-1.5)
国語B 3 二	登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読する（声に出して読むときの工夫とその理由を書く）	千葉 62.4% (-4.2)

○中学校

- ・「A問題」「B問題」ともに全国平均と同程度である。

【本県の平均正答率（全国との差，ポイント）】

「話すこと・聞くこと」	A問題：千葉 79.9% (+0.2),	B問題：千葉 71.6% (-0.6)
「書くこと」	A問題：千葉 74.1% (+0.5),	B問題：千葉 35.8% (-0.9)
「読むこと」	A問題：千葉 87.0% (+0.9),	B問題：千葉 62.7% (+0.1)
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」	A問題：千葉 72.8% (-0.1)	

- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の「漢字を正しく書く」が、継続した課題である。また「手紙の書き方の理解」に課題がある。

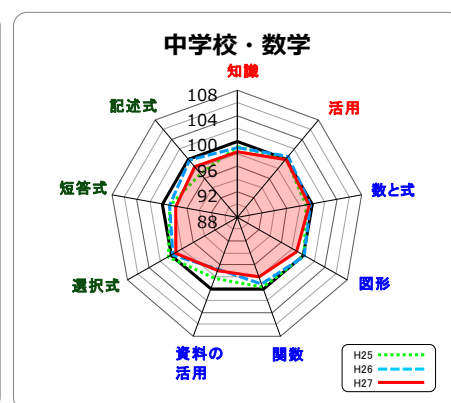
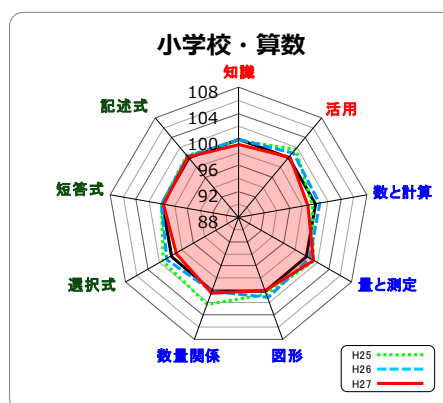
国語A 9 一 1	漢字を正しく書く（ <u>ビョウソク</u> 五メートルの風が吹く）	千葉 87.6% (-0.9)
国語A 9 一 2	漢字を正しく書く（地図の <u>シユクシヤク</u> を調べる）	千葉 70.3% (-1.8)
国語A 9 一 3	漢字を正しく書く（ <u>アマ</u> ったお金を貯金する）	千葉 65.1% (-5.8)
国語A 9 六	手紙の書き方を理解して書く	千葉 55.8% (-2.4)

- ・問題形式の「記述式」は、昨年度まで全国平均と同程度であったが、今年度は下回り、新たな課題に挙げられる。

国語B 1 三	資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く	千葉 55.1% (-1.1)
国語B 2 三	複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く	千葉 20.9% (-2.1)

【算数・数学について】

- ・右のチャートは、全国平均を100としています。
- ・結果の推移を見るため、平成25、26年度の結果も表示しています。



○小学校

- ・「A問題」「B問題」ともに全国平均と同程度である。

【本県の平均正答率（全国との差，ポイント）】

「数と計算」	A問題：千葉 78.6% (-1.5),	B問題：千葉 42.8% (+0.4)
「量と測定」	A問題：千葉 72.2% (+0.9),	B問題：千葉 42.2% (+0.5)
「図形」	A問題：千葉 64.4% (-0.1),	B問題：千葉 45.6% (0.0)
「数量関係」	A問題：千葉 85.5% (+0.6),	B問題：千葉 43.0% (0.0)

- ・「数と計算」に継続した課題が見られる。

算数A1(1)	計算の結果のおよその大きさを捉えることができる (8.9 - 0.78)	千葉 66.4% (-4.6)
算数A2(2)	末尾の位のそろっていない小数の減法の計算ができる (6.79 - 0.8)	千葉 64.1% (-5.4)
算数A2(3)	異分母の分数の減法の計算ができる (5/9 - 1/4)	千葉 80.4% (-1.0)
算数B4(1)	四捨五入して千の位までのおよその数にして計算することができる	千葉 50.8% (-1.8)

○中学校

- ・「A問題」「B問題」ともに全国平均と同程度である。

【本県の平均正答率（全国との差，ポイント）】

「数と式」	A問題：千葉 67.4% (-0.3),	B問題：千葉 62.8% (-0.4)
「図形」	A問題：千葉 62.4% (-1.0),	B問題：千葉 39.2% (+0.2)
「関数」	A問題：千葉 59.8% (-1.9),	B問題：千葉 31.1% (+0.4)
「資料の活用」	A問題：千葉 61.0% (-2.0),	B問題：千葉 30.4% (-0.8)

- ・領域の「関数」「資料の活用」は、全国平均を下回っており、特に「資料と活用」は継続した課題である。

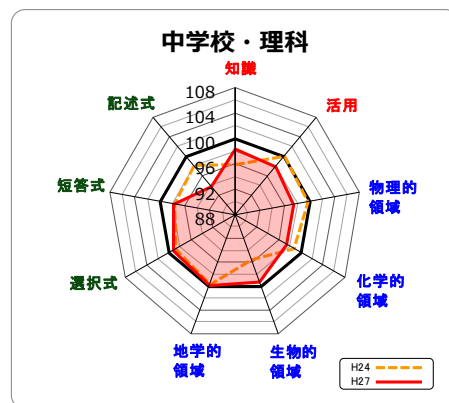
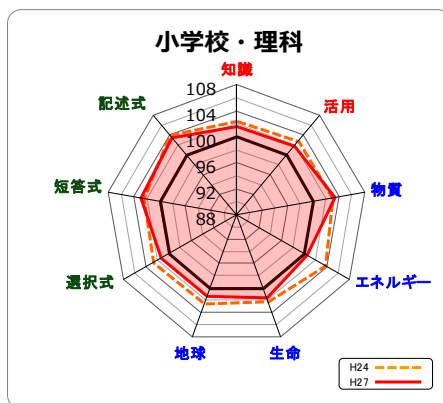
数学A10(1)	反比例のグラフがx軸，y軸に限りなく近づく2つの曲線であることを理解している	千葉 56.3% (-5.4)
数学A10(3)	比例のグラフから，xの変域に対応するyの変域を求めることができる	千葉 46.3% (-3.0)
数学A15(2)	多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している	千葉 52.8% (-2.6)
数学B5(1)	与えられた情報から必要な情報を選択し，的確に処理することができる	千葉 36.8% (-2.3)

- ・問題形式の「短答式」「記述式」は全国平均をやや下回っており、特に「記述式」は無解答率の高い設問が見られる。

数学B2(2)	事柄が成り立つ理由を，構想を立てて説明することができる	無解答率 千葉 28.1% (+4.1)
数学B3(2)	図形に着目して考察した結果を基に，問題解決の方法を図形の性質を用いて説明することができる	無解答率 千葉 52.4% (+4.2)
数学B5(1)	与えられた情報から必要な情報を選択し，的確に処理することができる	無解答率 千葉 30.0% (+3.2)
数学B5(2)	資料の傾向を的確に捉え，判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	無解答率 千葉 32.2% (+2.5)

【理科について】

- ・右のチャートは、全国平均を100としています。
- ・結果の推移を見るため、平成24年度の結果も表示しています。



○小学校

- ・「知識」「活用」一体では全国平均と同程度である。

【本県の平均正答率（全国との差，ポイント）】

「物質」に関する問題	千葉 59.3% (+1.9)
「エネルギー」に関する問題	千葉 65.9% (+0.3)
「生命」に関する問題	千葉 62.2% (+1.0)
「地球」に関する問題	千葉 58.6% (+0.8)

- ・「物質」に関する問題の領域は全国平均を上回っている。

理科2 (2) 生物の成長に必要な養分のとり方について、調べた結果を視点をもって考察して分析できる	千葉 78.9% (+2.6)
理科3 (3) 水の温まり方を考察するために、実験結果を基に自分の考えを改善できる	千葉 53.4% (+1.7)
理科3 (4) メスシリンダーの名称を理解している	千葉 78.7% (+8.0)

- ・問題形式の「短答式」「記述式」は全国平均を上回っている。

理科2 (5) 植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述できる	千葉 46.4% (+2.2)
理科3 (6) 析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述できる	千葉 31.5% (+2.6)

○中学校

- ・「知識」「活用」一体では全国平均と同程度であるが、「活用」に関する設問の中に全国平均を下回るものがある。

【本県の平均正答率（全国との差，ポイント）】

第1分野「物理的領域」	千葉 47.6% (-1.3)	第1分野「化学的領域」	千葉 54.7% (-1.5)
第2分野「生物的領域」	千葉 61.7% (-0.5)	第2分野「地学的領域」	千葉 46.3% (-0.1)

- ・「物理的領域」「化学的領域」が全国平均を下回っている。

理科1 (3) 二酸化炭素の体積を量る場面において、水上置換法では正確に量れない理由を説明することができる	千葉 48.3% (-4.7)
理科5 (2) 技術の仕組みを示す場面において、スイッチの入り切りによる磁界の変化を説明することができる	千葉 52.7% (-4.1)
理科6 (1) 日常生活の場面において、音の高さが高くなったといえる音の波形の特徴を指摘することができる	千葉 35.7% (-4.4)

- ・問題形式の「記述式」が全国平均を大きく下回っており、「短答式」が下回っている。特に「記述式」は無解答率の高い設問があり、課題が見られる。

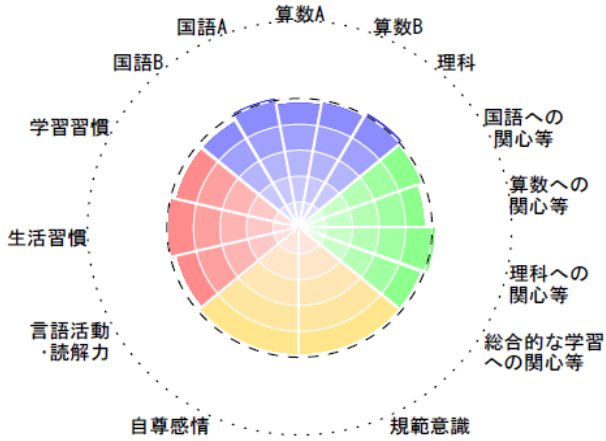
理科1 (3) 二酸化炭素の体積を量る場面において、水上置換法では正確に量れない理由を説明することができる	無解答率 千葉 23.8% (+5.0)
理科5 (2) 技術の仕組みを示す場面において、スイッチの入り切りによる磁界の変化を説明することができる	無解答率 千葉 34.4% (+3.7)
理科7 (3) 見いだした問題を基に、適切な課題を設定することができる	無解答率 千葉 30.4% (+2.6)

児童生徒質問紙調査から

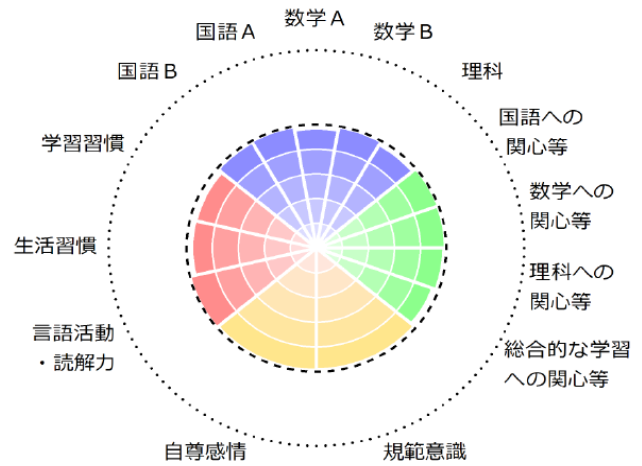
○全国学力・学習状況調査結果チャート〔児童生徒〕

※このチャート図は、千葉県（公立）の調査結果について、全国（公立）を母集団として標準化したものである。内側の点線が全国平均を表している。

小学校〔児童質問紙〕



中学校〔生徒質問紙〕



○結果の概要

児童においては「理科への関心等」の領域が、全国平均よりやや高く、「算数,数学への関心等」の領域は、児童生徒ともにやや下回っている。「学習習慣」の領域は、児童生徒ともに全国平均をやや下回り、家庭学習について課題が見られる。

※以下の、「肯定的回答」とは、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計である。

※文中の、「同程度」は全国との差が±0.9 ポイントの範囲内、「やや高い、やや低い」は全国との差が±1.0～4.9 ポイントの範囲内、「高い、低い」は全国との差が±5.0～9.9 ポイントの範囲内、「著しく高い、著しく低い」は全国との差が±10.0 ポイント以上であることを表している。

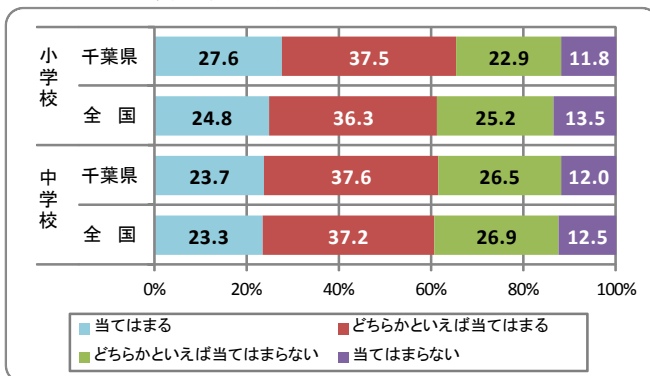
※「平成27年度調査結果」のグラフは、「その他」「無回答」を除いて作成し、数値を四捨五入してあるため、割合の合計が100%にならない場合がある。

国語への関心等

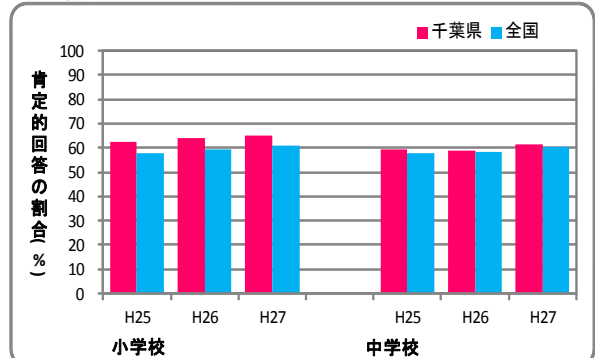
小	中	国語の勉強は好きですか
48	48	

◇肯定的回答の割合は、児童が全国と比べてやや高く、生徒が同程度である。平成25年度以降、国語の勉強が好きな児童生徒の割合が全国を上回る状況が続いている。

【平成27年度調査結果】



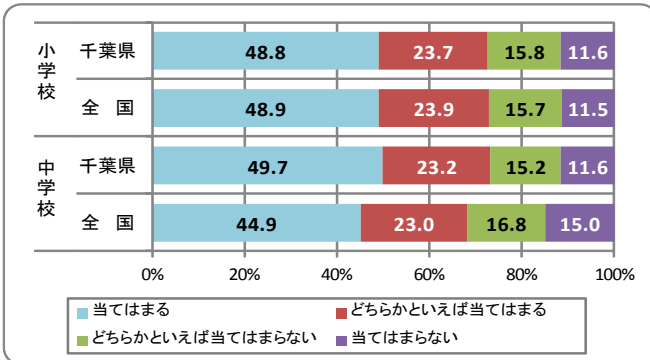
【経年変化】



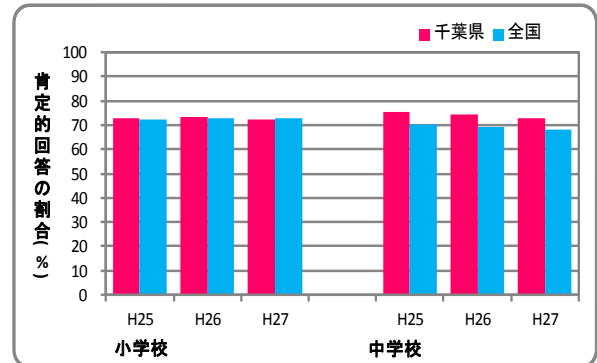
小	中	読書は好きですか
51	51	

◇肯定的回答の割合は、児童が全国と同程度である。生徒は全国より高く、読書好きの割合が高い。

【平成27年度調査結果】



【経年変化】

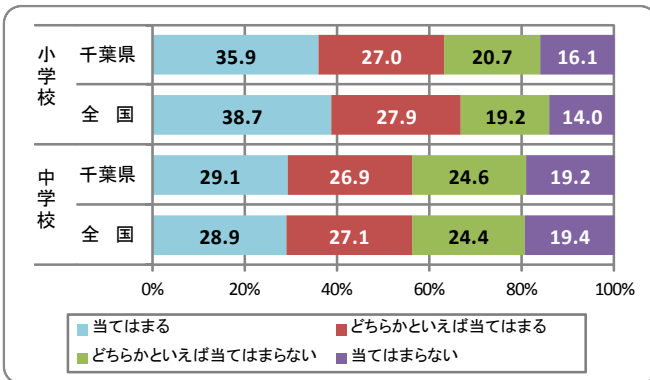


算数・数学への関心等

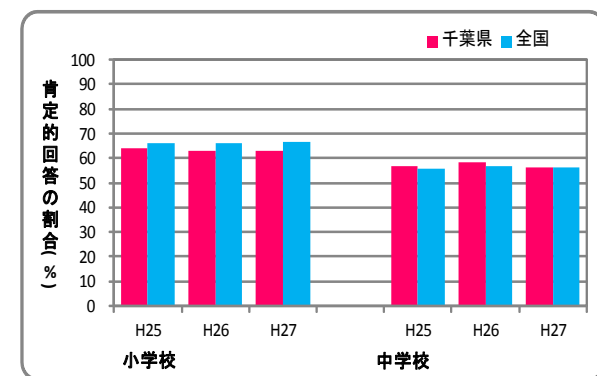
小	中	算数・数学の勉強は好きですか
58	58	

◇肯定的回答の割合は、児童が全国と比べてやや低く、生徒は同程度である。

【平成27年度調査結果】



【経年変化】

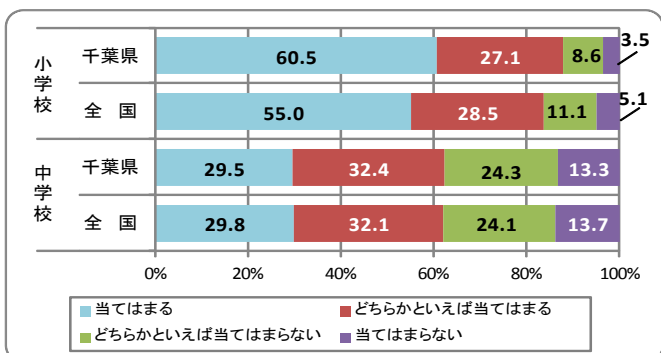


理科への関心等

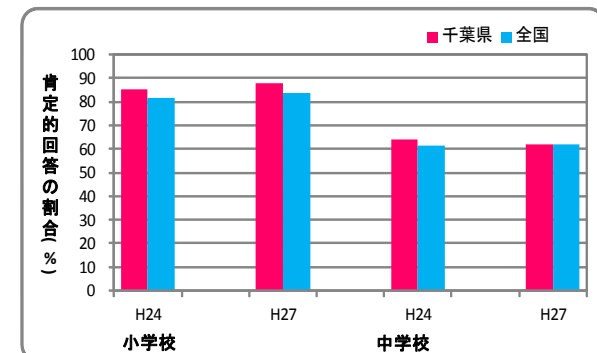
小	中	理科の勉強は好きですか
69	69	

◇肯定的回答の割合は、児童が全国と比べてやや高く、生徒は同程度である。

【平成27年度調査結果】



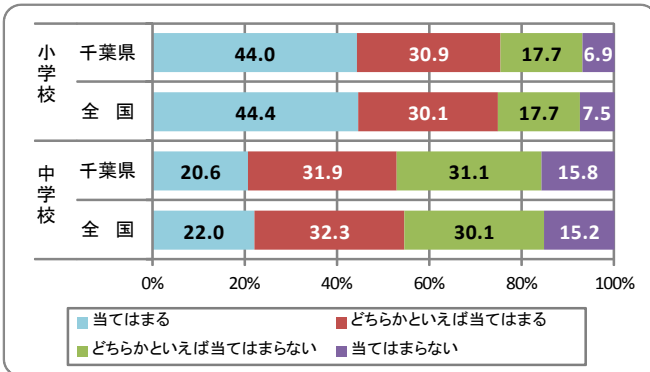
【経年変化】



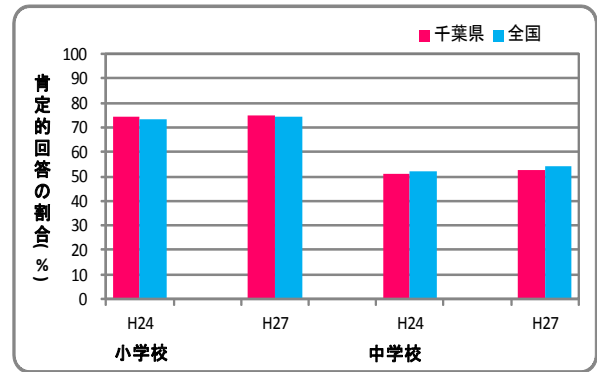
小 74	中 74	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
---------	---------	-------------------------------------

◇肯定的回答の割合は、児童が全国と同程度であり、生徒はやや低い。

【平成27年度調査結果】



【経年変化】

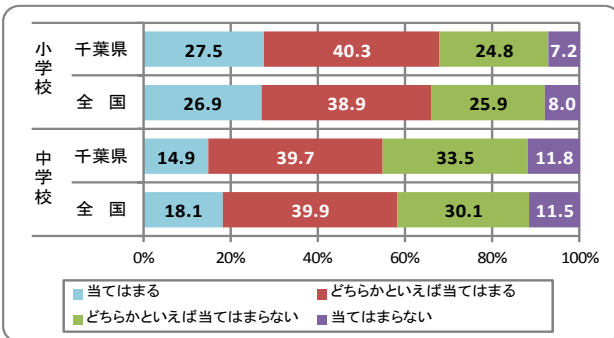


総合的な学習への関心等

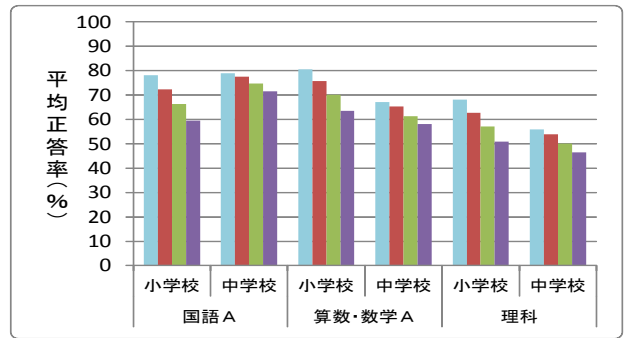
小 37	中 37	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
---------	---------	--

◇肯定的回答の割合は、児童が全国と比べてやや高く、生徒がやや低い。肯定的回答をしている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

【平成27年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】

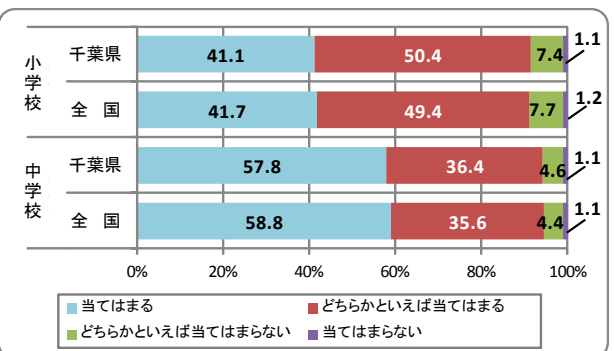


規範意識

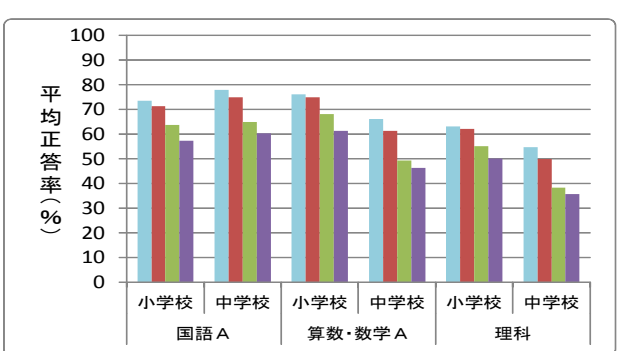
小 32	中 32	学校のきまり・規則を守っていますか
---------	---------	-------------------

◇肯定的回答の割合は、児童生徒ともに90%を超えており、全国と同程度である。きまり・規則を守っている児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられる。

【平成27年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】

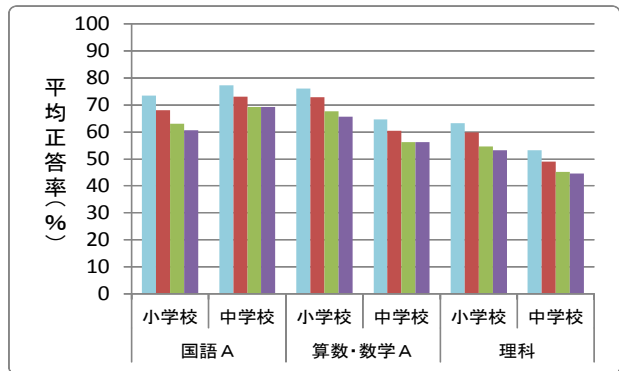
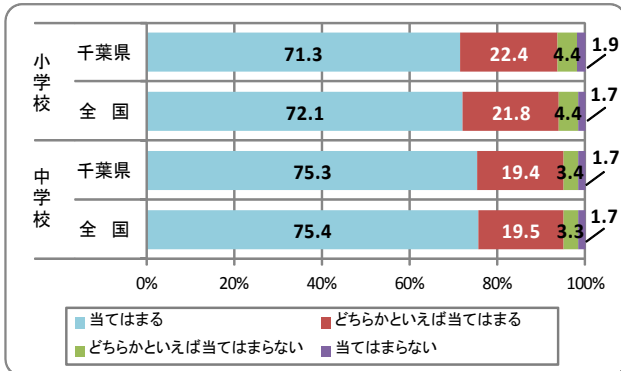


小 33	中 33	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか
---------	---------	------------------------

◇肯定的回答の割合は、児童生徒ともに90%を超えており、全国と同程度である。人の気持ちが分かるかと回答している児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられる。

【平成27年度調査結果】

【回答結果と正答率の関連】

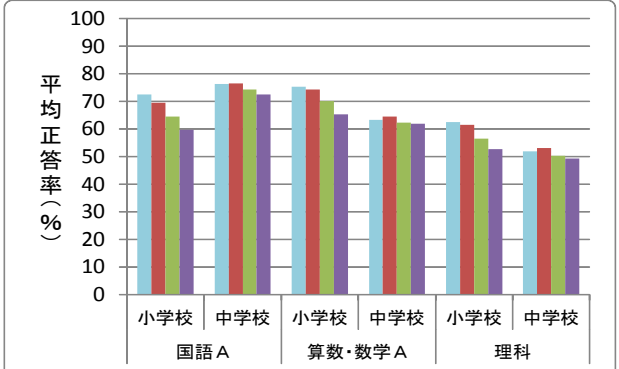
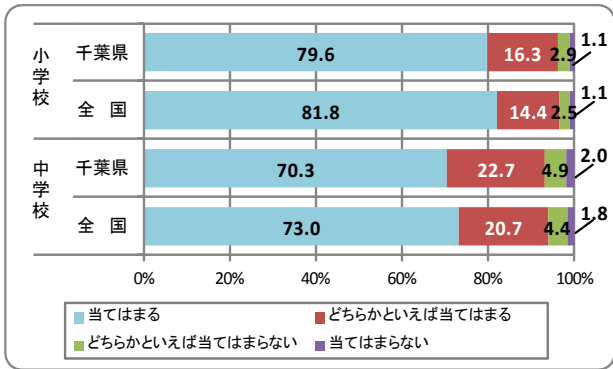


小 34	中 34	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
---------	---------	------------------------------

◇肯定的回答の割合は、児童生徒ともに90%を超えており、全国と同程度である。いじめをいけないことだと感じている児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられる。

【平成27年度調査結果】

【回答結果と正答率の関連】



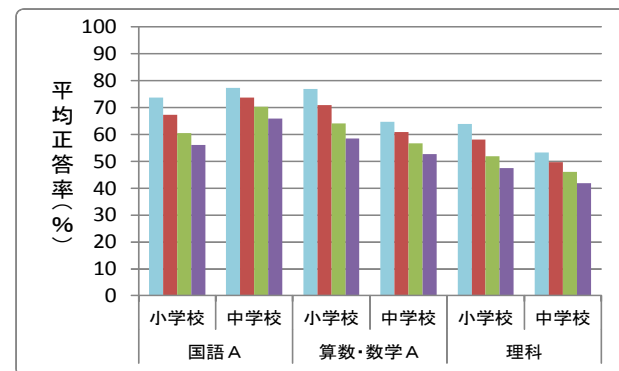
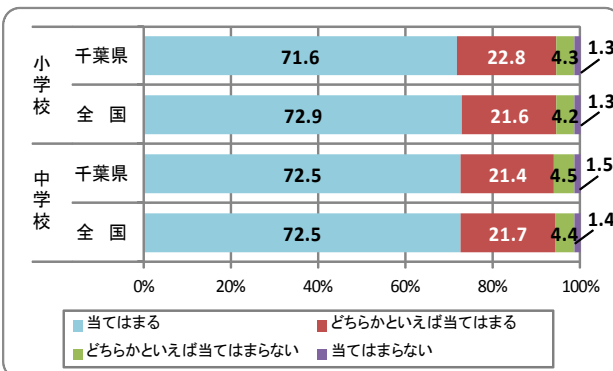
自尊感情

小 4	中 4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
--------	--------	-------------------------------

◇肯定的回答の割合は、児童生徒ともに90%を超えており、全国とほぼ同程度である。達成感を味わっている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

【平成27年度調査結果】

【回答結果と正答率の関連】

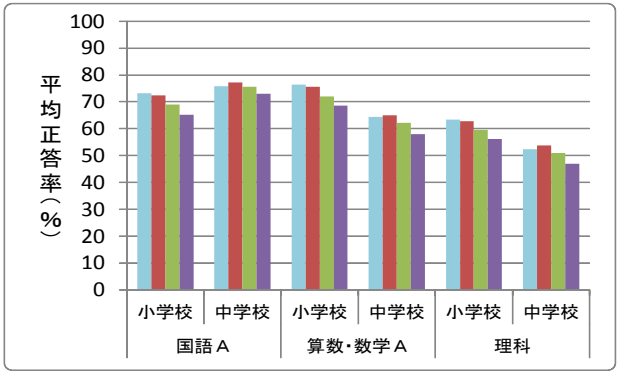
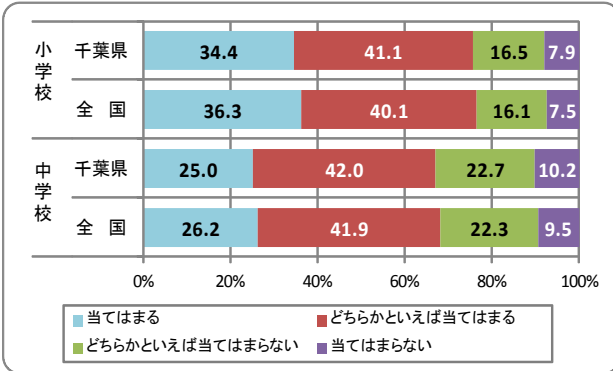


小 6	中 6	自分には、よいところがあると思いますか
--------	--------	---------------------

◇肯定的回答の割合は、児童が全国とほぼ同程度であり、生徒がやや低い。自分のよさを認識している児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

【平成27年度調査結果】

【回答結果と正答率の関連】



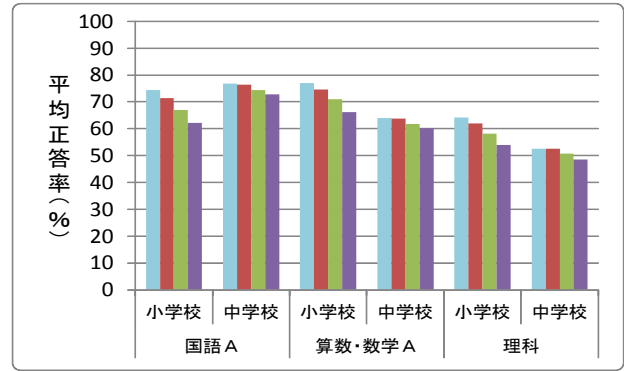
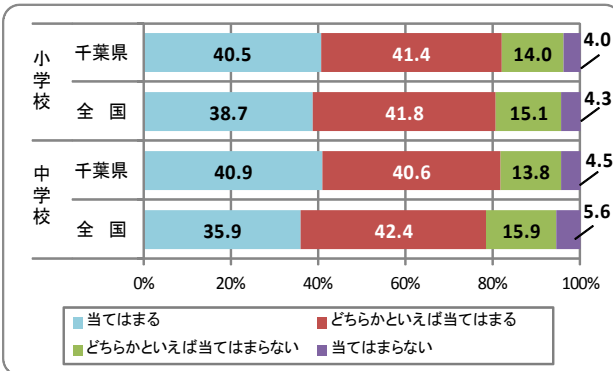
話し合い活動

小 25	中 25	あなたの学級では、学級会の時間などに友達同士で話し合って学級の決まりなどを決めていると思いますか（新規）
---------	---------	--

◇肯定的回答の割合は、児童生徒ともに全国よりやや高い。

【平成27年度調査結果】

【回答結果と正答率の関連】

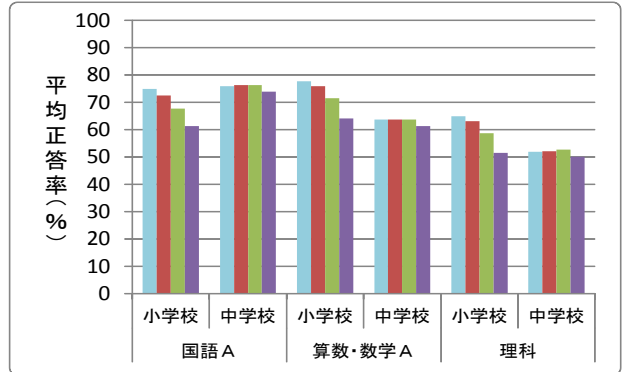
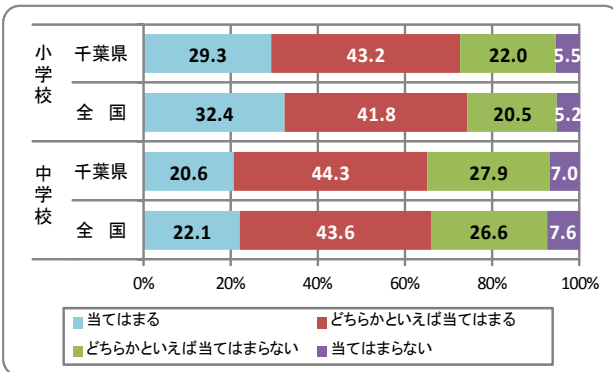


小 40	中 40	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか（新規）
---------	---------	--

◇肯定的回答の割合は、児童がやや低く、生徒が同程度である。

【平成27年度調査結果】

【回答結果と正答率の関連】

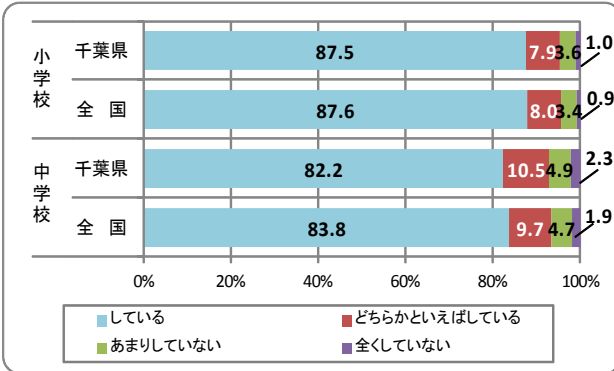


生活習慣

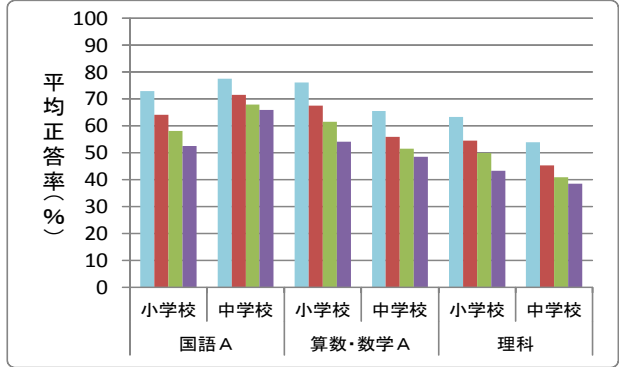
小	中	朝食を毎日食べていますか
1	1	

◇肯定的回答の割合は、児童生徒ともに90%を超えており、全国とほぼ同程度である。朝食を毎日食べている児童生徒ほど、正答率が高い傾向が見られる。

【平成27年度調査結果】



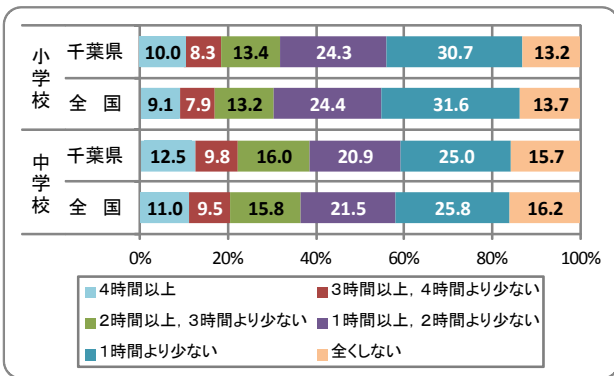
【回答結果と正答率の関連】



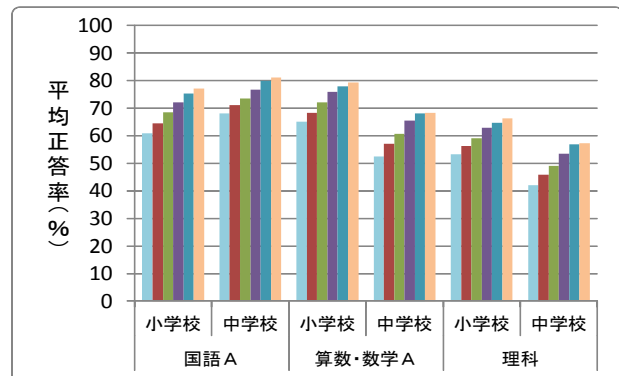
小	中	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンのゲームも含む）をしますか
11	11	

◇「1時間以上する」と回答した割合は、児童生徒ともに全国よりやや高い。ゲームをする時間が長い児童生徒ほど、正答率が低い傾向が見られる。

【平成27年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】

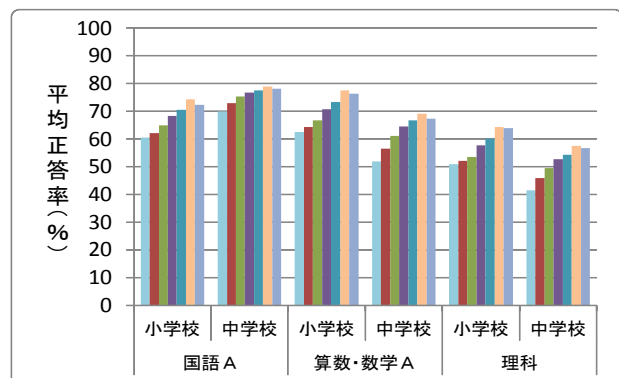
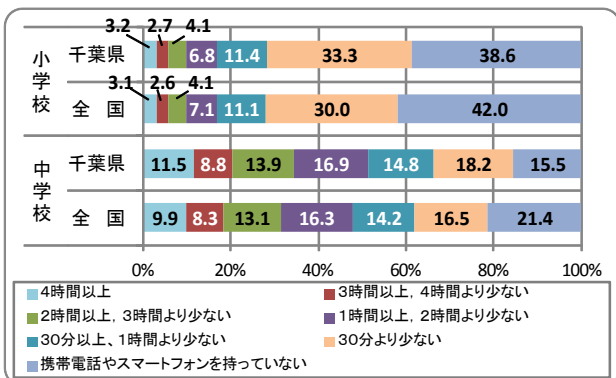


小	中	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）
12	12	

◇「1時間以上する」と回答した割合は、児童が全国と同程度であり、生徒がやや高い。携帯電話等でメールやインターネットをする時間が長い児童生徒ほど、正答率が低い傾向が見られる。

【平成27年度調査結果】

【回答結果と正答率の関連】

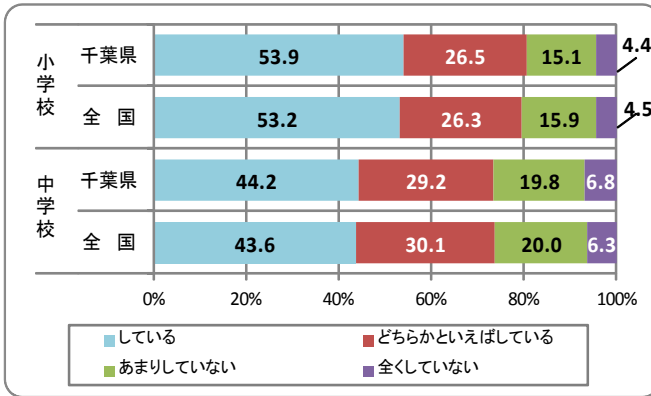


家庭教育

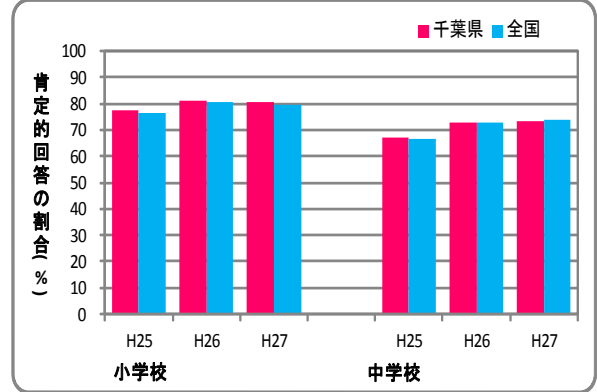
小 18	中 18	家の人と学校での出来事について話をしますか
---------	---------	-----------------------

◇肯定的回答の割合は、児童生徒ともに全国と同程度である。

【平成27年度調査結果】



【経年変化】

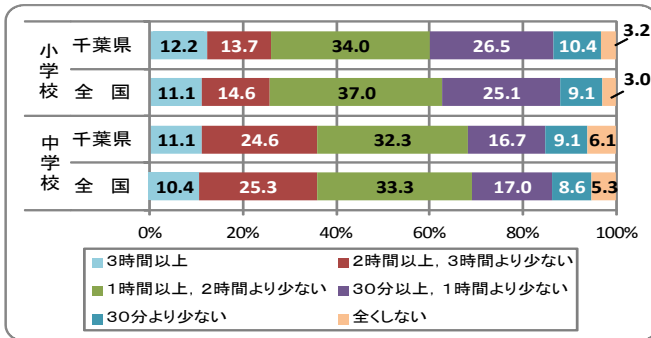


学習習慣

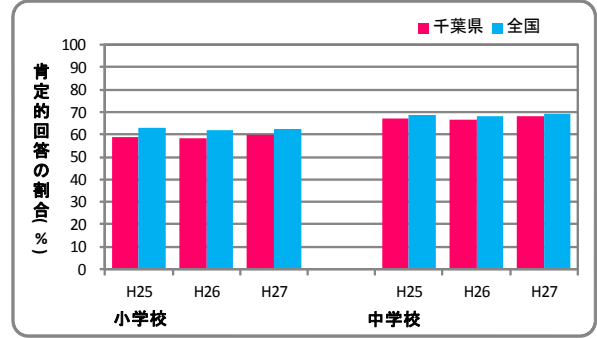
小 13	中 13	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）
---------	---------	--

◇「1時間以上する」と回答した割合は、児童生徒ともに全国と比べてやや低いものの、増加傾向にある。勉強時間が長い児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

【平成27年度調査結果】

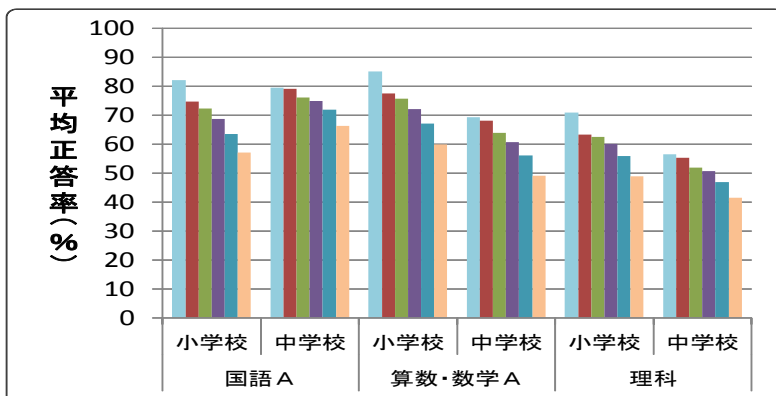


【経年変化】



※「肯定的回答」とは、「3時間以上」、「2時間以上、3時間より少ない」、「1時間以上、2時間より少ない」と回答した割合の合計である。

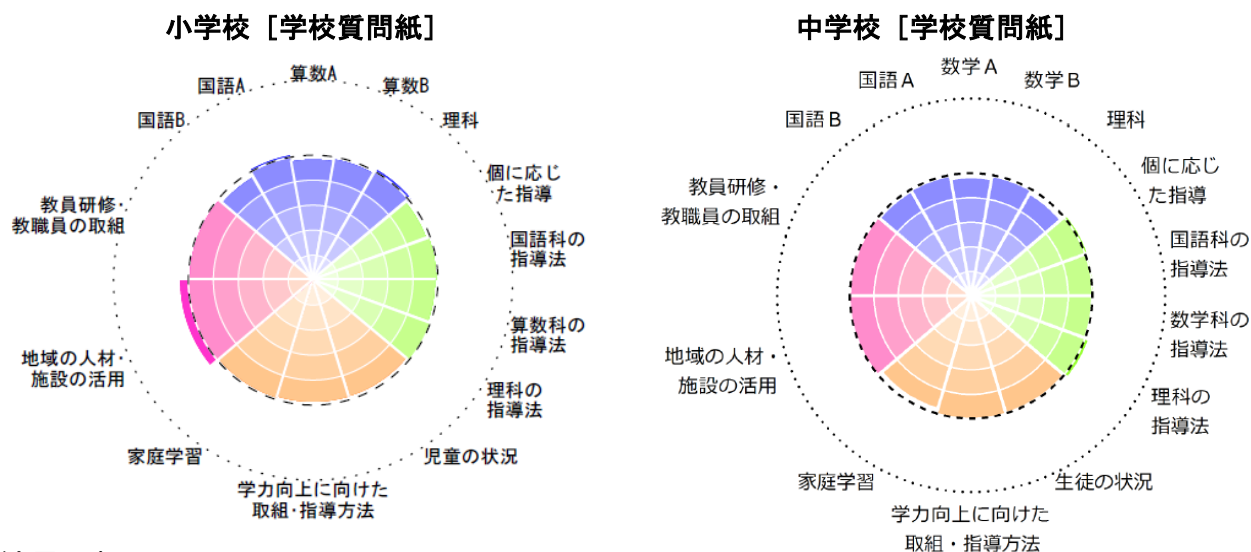
【回答結果と正答率の関連】



学校質問紙調査から

○全国学力・学習状況調査結果チャート [学校運営]

※このチャート図は、千葉県（公立）の調査結果について、全国（公立）を母集団として標準化したものである。内側の点線が全国平均を表している。



○結果の概要

各教科の「指導法」「児童・生徒の状況」の領域は小中学校ともに全国平均と同程度である。「家庭学習」の領域が、小中学校ともにやや下回り、児童生徒の家庭学習を充実させるための取組に課題がみられる。また、自校の成果と課題を分析し、学校全体で共有する取組を積極的に行う必要がある。

※以下の、「肯定的回答」とは、「よく行った、どちらかといえば行った」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計である。

※文中の、「同程度」は全国との差が±0.9ポイントの範囲内、「やや高い、やや低い」は全国との差が±1.0～4.9ポイントの範囲内、「高い、低い」は全国との差が±5.0～9.9ポイントの範囲内、「著しく高い、著しく低い」は全国との差が±10.0ポイント以上であることを表している。

※「平成27年度調査結果」のグラフは、「その他」「無回答」を除いて作成し、数値を四捨五入してあるため、割合の合計が100%にならない場合がある。

個に応じた指導

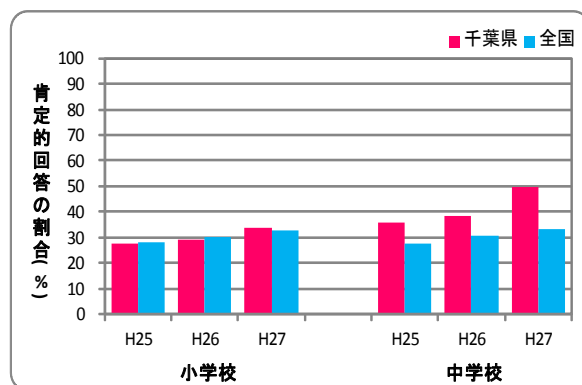
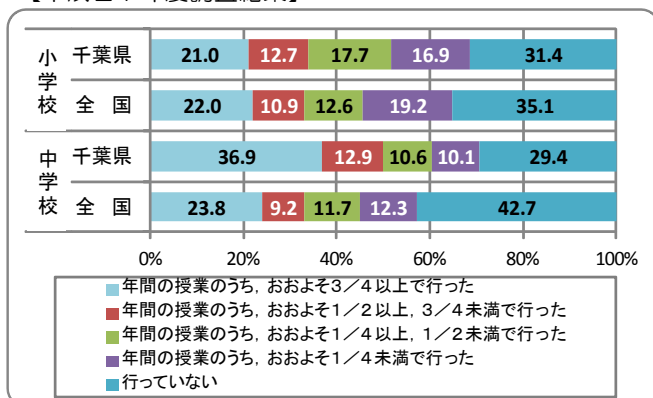
※本領域における「肯定的回答」とは、年間の授業のうち、おおよそ「3/4以上」、「1/2以上、3/4未満」で行ったと回答した割合の合計である。

小	中	算数・数学の授業において、前年度に、ティームティーチングによる指導を行いましたか
57	57	たか

◇肯定的回答の割合は、小学校が全国と同程度であり、中学校が著しく高い。

【平成27年度調査結果】

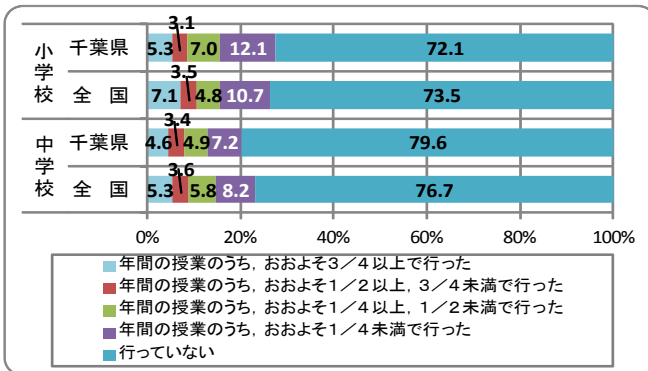
【経年変化】



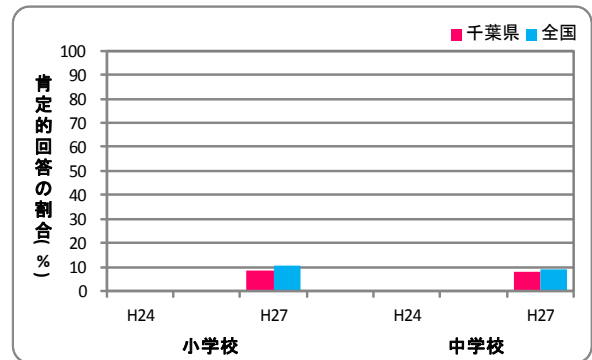
小	中	理科の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか
58	58	

◇肯定的回答の割合は、全国と比べて小学校がやや低く、中学校は同程度である。

【平成27年度調査結果】



【経年変化】

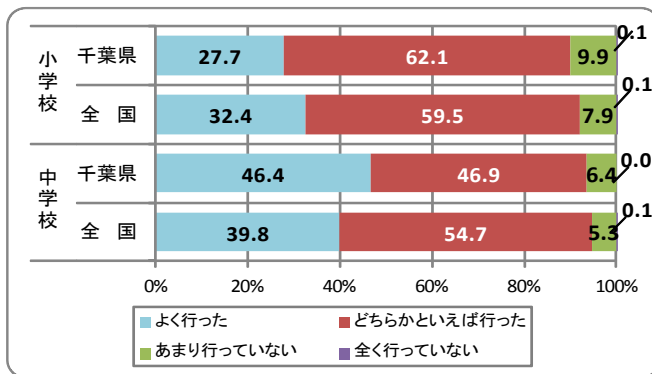


国語科の指導法

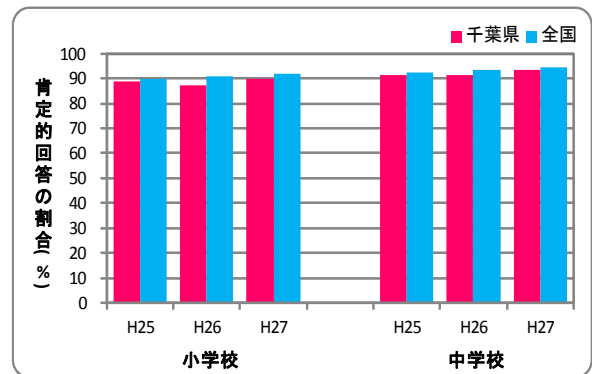
小	中	国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか
62	62	

◇肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べてやや低い。

【平成27年度調査結果】



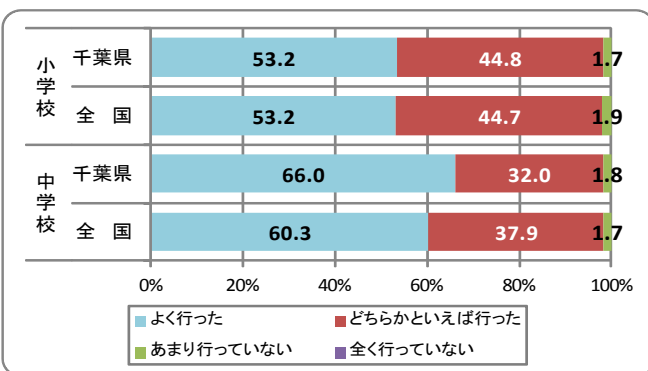
【経年変化】



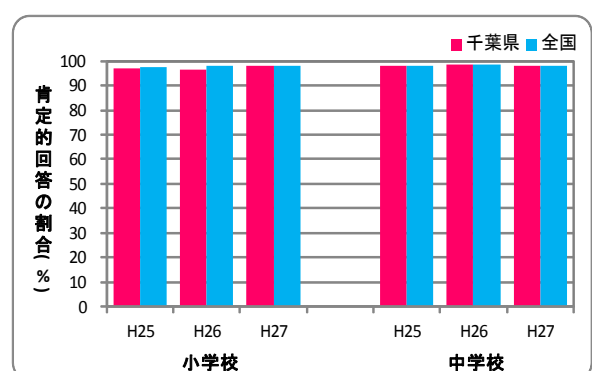
小	中	国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか
64	64	

◇肯定的回答の割合は、小学校中学校ともに全国と比べて同程度である。

【平成27年度調査結果】



【経年変化】

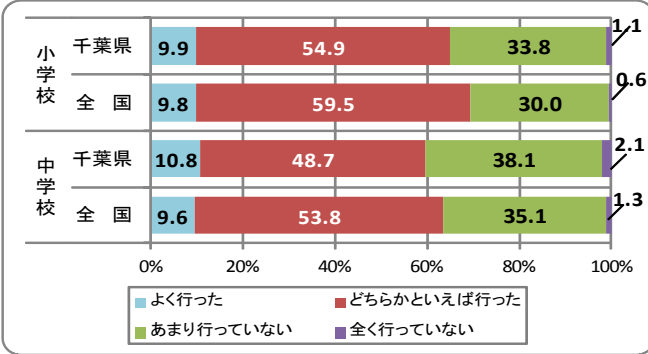


算数・数学の指導法

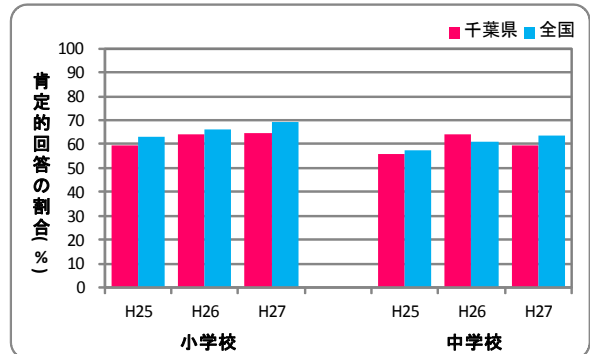
小 67	中 67	算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか
---------	---------	---

◇肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べて低い。

【平成27年度調査結果】



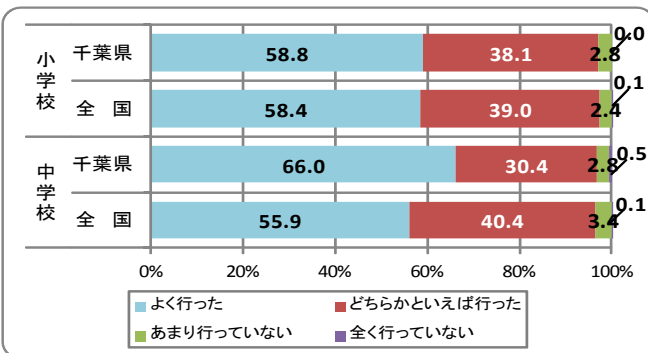
【経年変化】



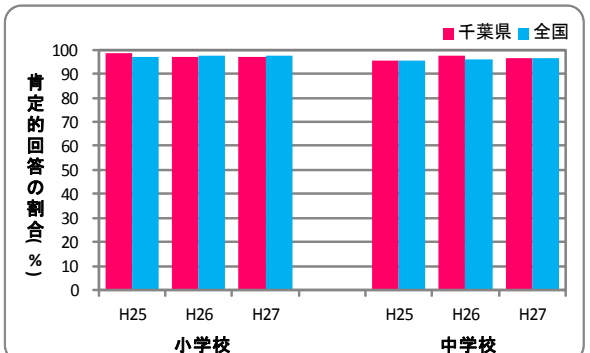
小 68	中 68	算数・数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか
---------	---------	--

◇肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と同程度である。

【平成27年度調査結果】



【経年変化】

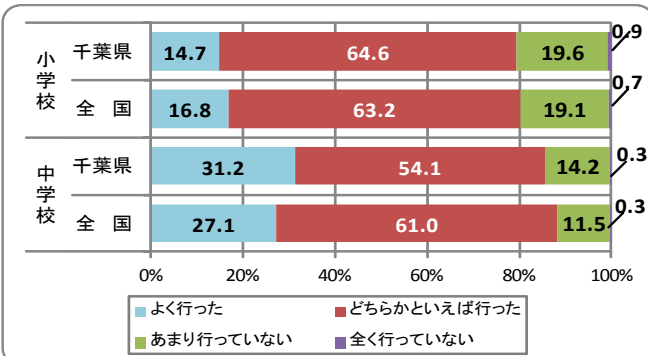


理科の指導法

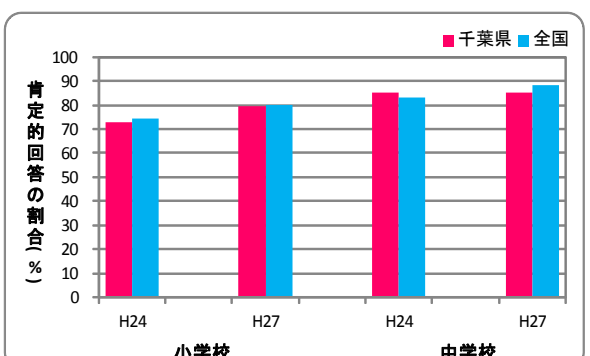
小 72	中 71	理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか
---------	---------	--

◇肯定的回答の割合は、小学校が全国と同程度であり、中学校はやや低い。

【平成27年度調査結果】



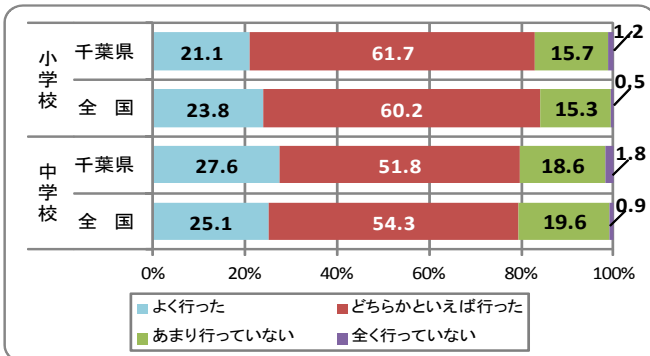
【経年変化】



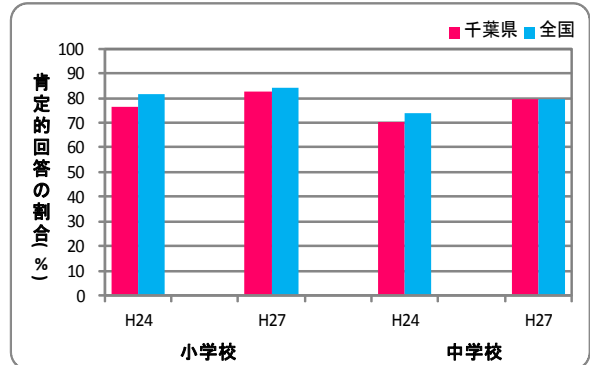
小 73	中 72	理科の指導として、前年度までに、科学的な体験や自然体験をする授業を行いましたか
---------	---------	---

◇肯定的回答の割合は、小学校が全国と比べてやや低く、中学校は同程度である。

【平成27年度調査結果】



【経年変化】

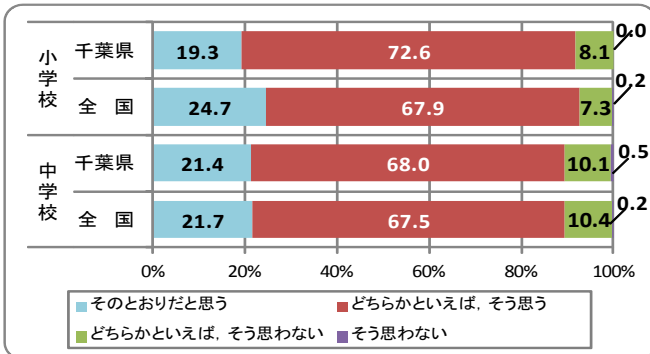


児童・生徒の状況

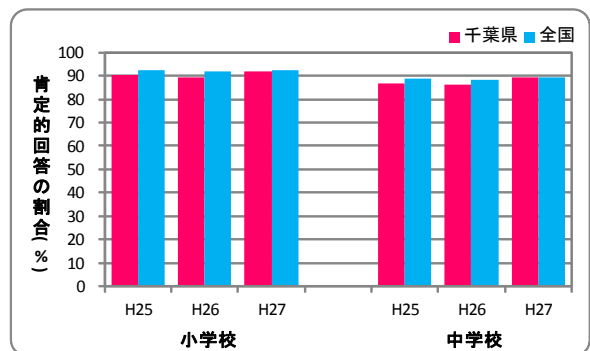
小 16	中 16	児童・生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか
---------	---------	---------------------------

◇肯定的回答の割合は、小学校が全国と比べてやや低く、中学校は同程度である。小中学校ともに、肯定的回答の割合が80%を超えている。

【平成27年度調査結果】



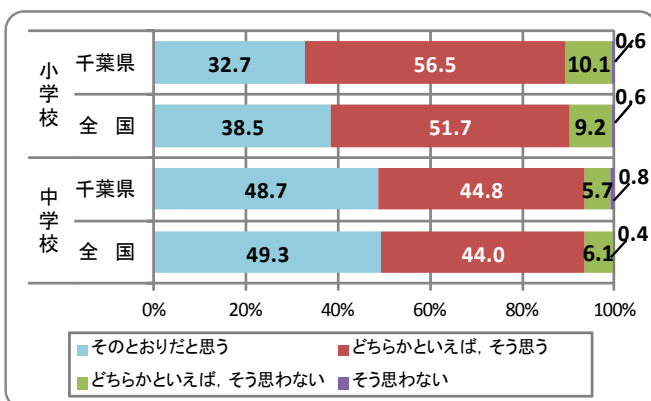
【経年変化】



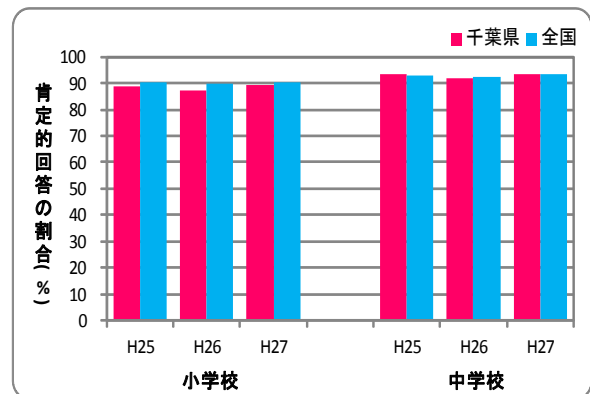
小 17	中 17	児童・生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか
---------	---------	---------------------------------

◇肯定的回答の割合は、小学校が全国と比べてやや低く、中学校は同程度である。小中学校ともに、肯定的回答の割合が80%を超えている。

【平成27年度調査結果】



【経年変化】



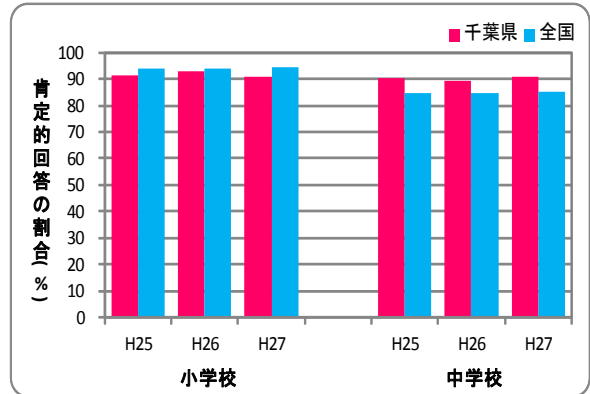
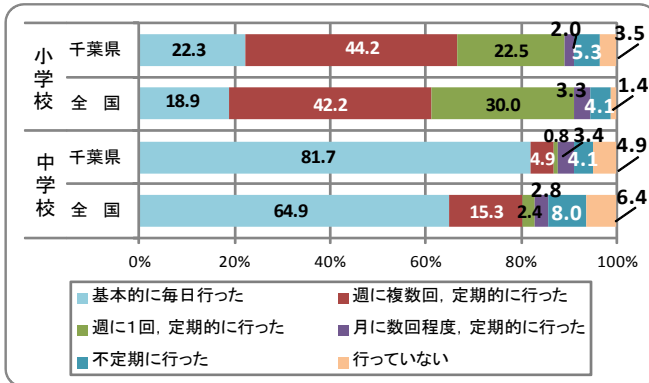
学力向上に向けた取組・指導方法

小 24	中 24	前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか
---------	---------	------------------------------

◇肯定的回答の割合は、小学校が全国と比べてやや低く中学校は高い。

【平成27年度調査結果】

【経年変化】



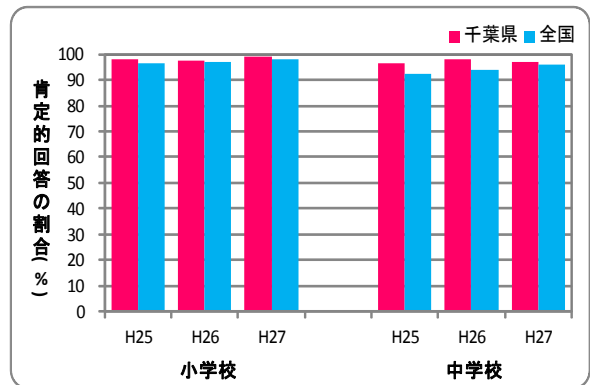
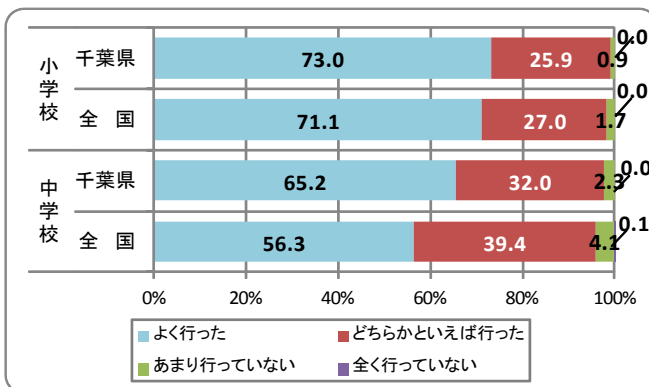
※「肯定的回答」とは、「基本的に毎日」、「週に複数回、定期的に」、「週に1回、定期的に」、「月に数回程度、定期的に」行ったと回答した割合の合計である。

小 29	中 29	前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を児童・生徒に示す活動を計画的に取り入れましたか
---------	---------	--

◇肯定的回答の割合は、小学校が全国と同程度であり、中学校は全国と比べてやや高い。

【平成27年度調査結果】

【経年変化】

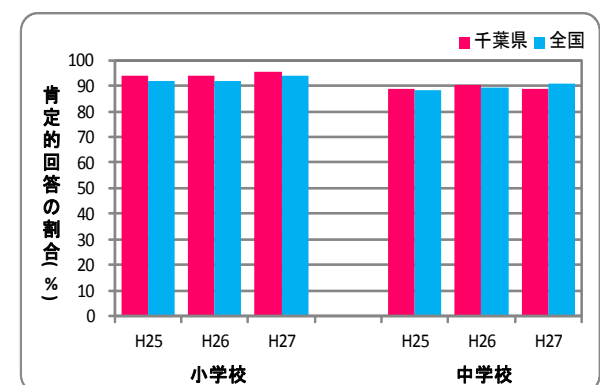
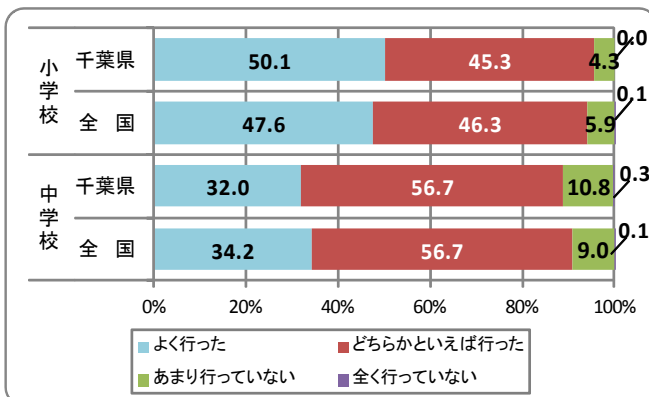


小 30	中 30	前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか
---------	---------	---

◇肯定的回答の割合は、小学校が全国と比べてやや高く、中学校はやや低い。

【平成27年度調査結果】

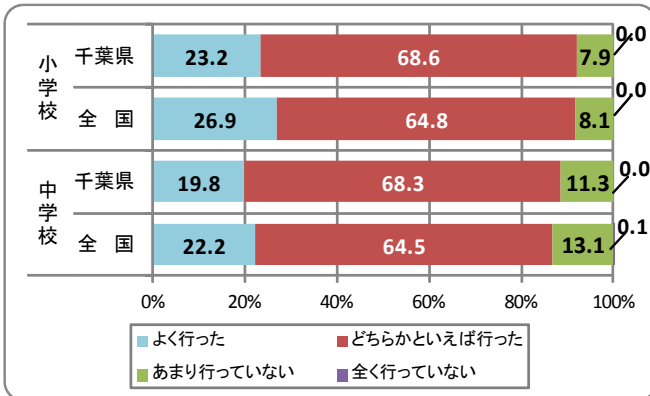
【経年変化】



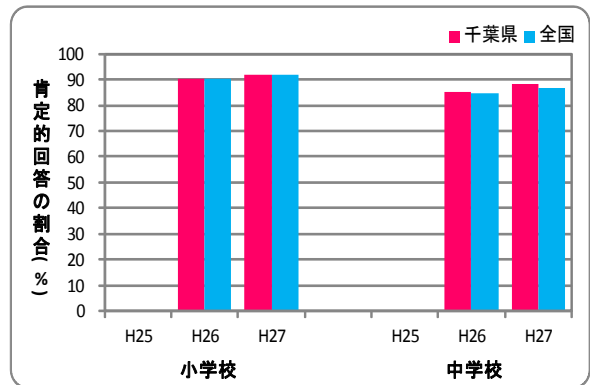
小 31	中 31	前年度までに、各教科等のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか（平成25年はなし）
---------	---------	--

◇肯定的回答の割合は、小学校が全国と比べて同程度であり、中学校がやや高い。

【平成27年度調査結果】



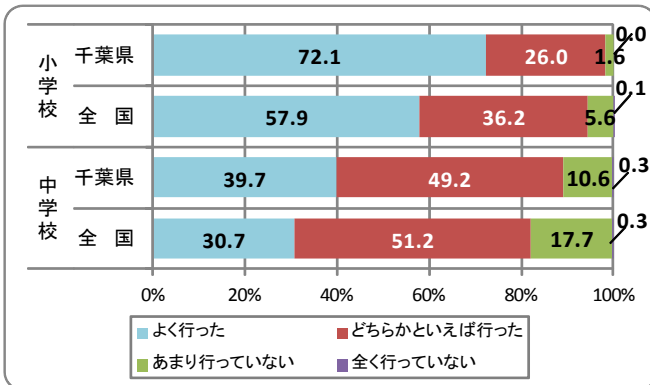
【経年変化】



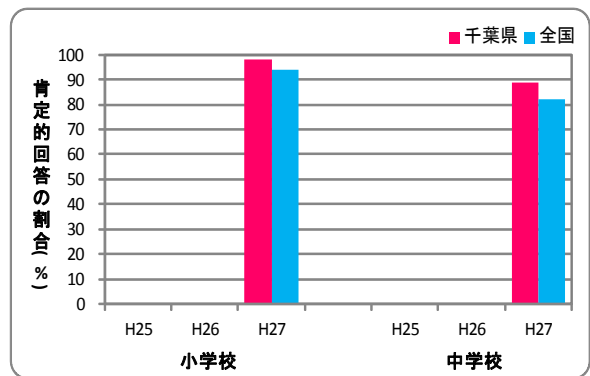
小 34	中 34	前年度までに、授業で扱うノートに学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導していますか（新規）
---------	---------	--

◇肯定的回答の割合は、小学校が全国と比べてやや高く、中学校が高い。

【平成27年度調査結果】



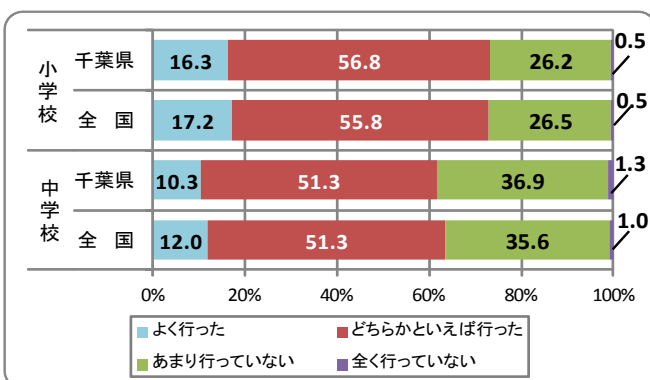
【経年変化】



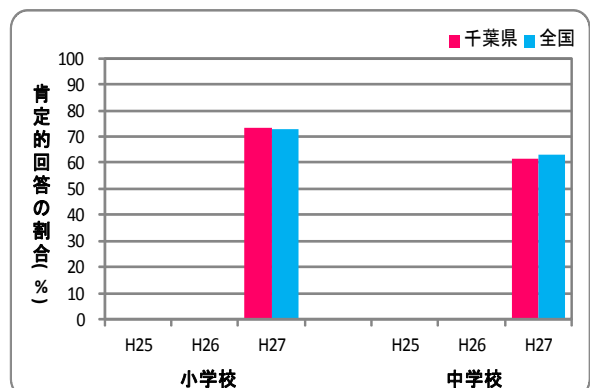
小 37	中 37	前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れていますか（新規）
---------	---------	---

◇肯定的回答の割合は、小学校が全国と比べて同程度であり、中学校がやや低い。

【平成27年度調査結果】



【経年変化】



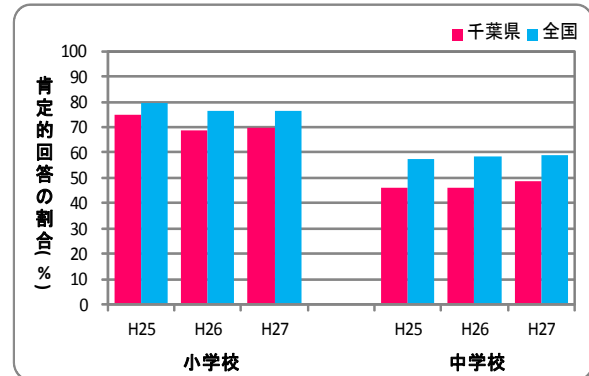
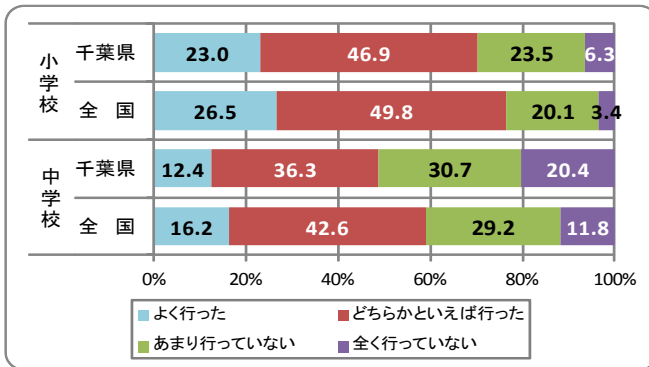
地域の人材・施設の活用

小	中	前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いました
81	80	

◇肯定的回答の割合は、小学校が全国と比べて低く、中学校が著しく低い。

【平成27年度調査結果】

【経年変化】



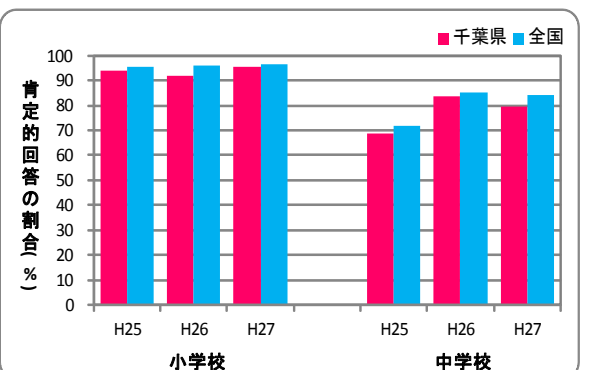
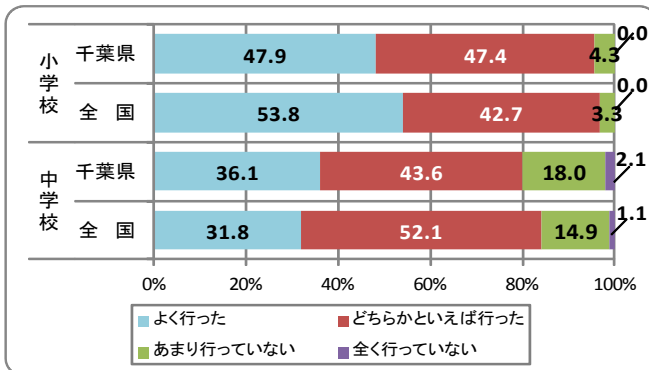
家庭学習

小	中	前年度までに、保護者に対して児童・生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／算数・数学共通）
93	91	

◇肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べてやや低い。

【平成27年度調査結果】

【経年変化（H25は国語についての調査）】

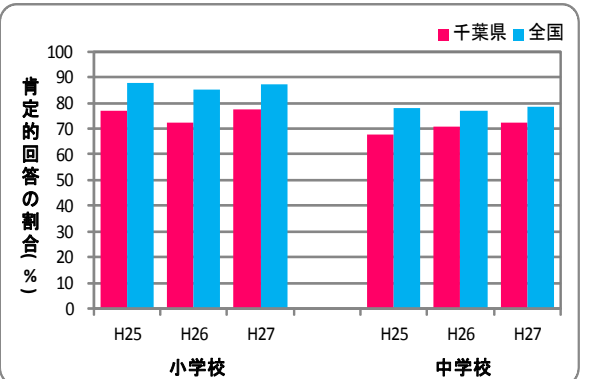
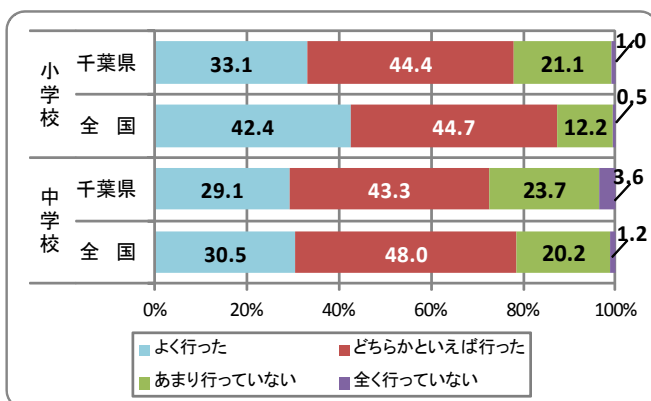


小	中	前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数・数学共通）
94	92	

◇肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べて低い。

【平成27年度調査結果】

【経年変化（H25は国語についての調査）】

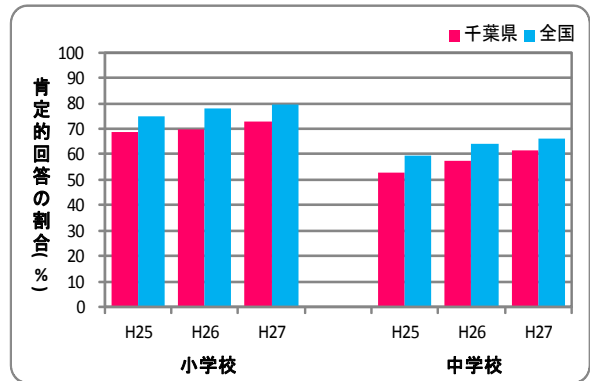
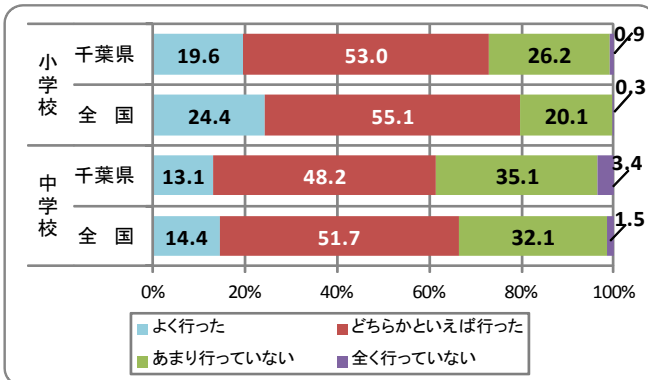


小 95	中 93	前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数・数学共通）
---------	---------	--

◇肯定的回答の割合は、小学校が全国と比べて低く、中学校がやや低い。

【平成27年度調査結果】

【経年変化】

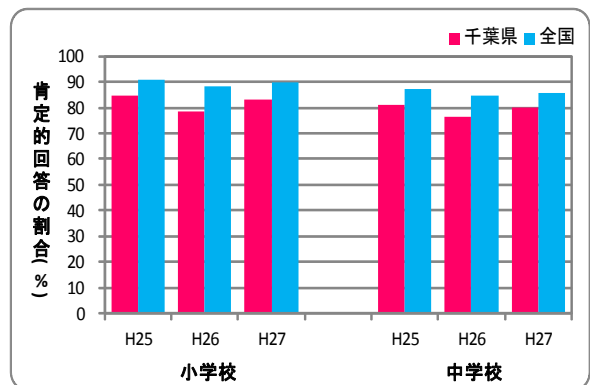
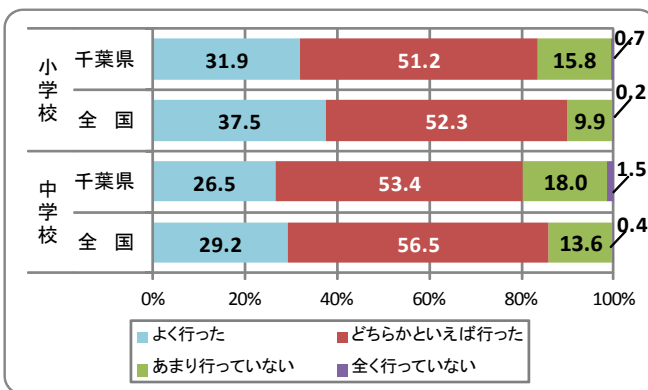


小 96	中 94	前年度までに、家庭学習の取組として、児童・生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／算数・数学共通）
---------	---------	--

◇肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べて低い。

【平成27年度調査結果】

【経年変化】



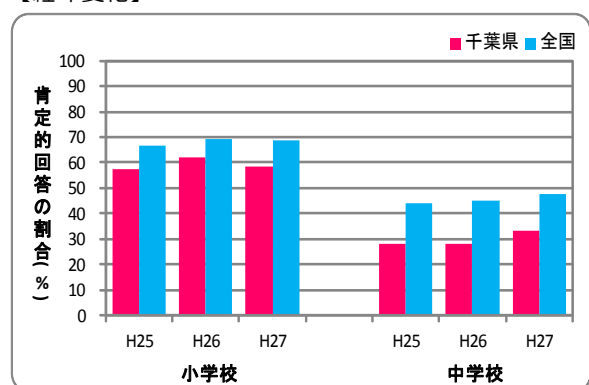
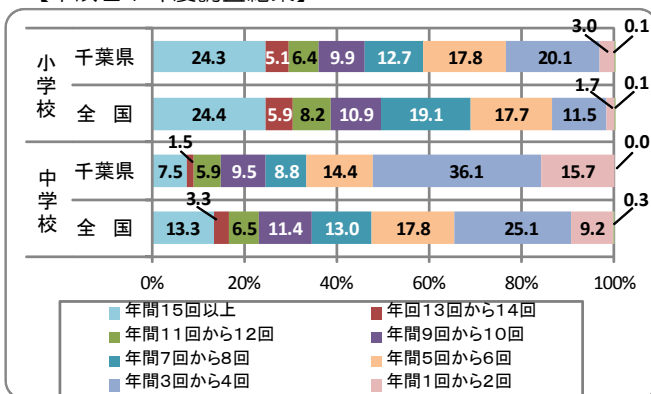
教員研修・教職員の取組

小 103	中 101	授業研究を伴う校内研修を、前年度に何回実施しましたか
----------	----------	----------------------------

◇「年間7回以上実施した」と回答した割合は、小中学校ともに全国と比べて著しく低い。

【平成27年度調査結果】

【経年変化】



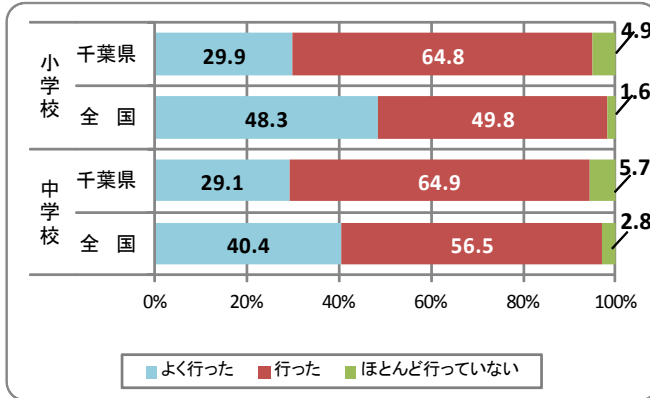
※「肯定的回答」とは、年間「15回以上」、「13回から14回」、「11回から12回」、「9回から10回」、「7回から8回」実施したと回答した割合の合計である。

全国学力・学習状況調査等の活用

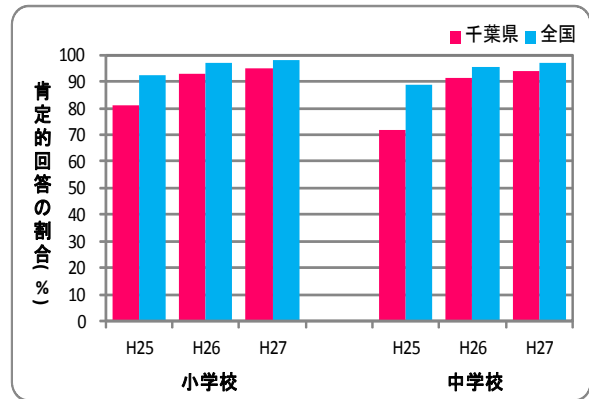
小	中	平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか
50	50	

◇肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べてやや低い。小中学校ともに改善傾向にある。

【平成27年度調査結果】



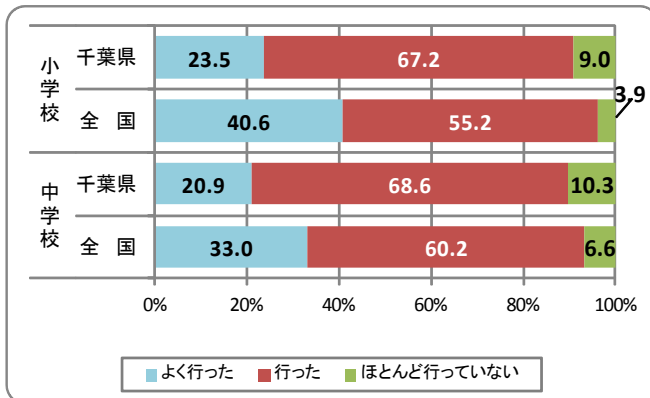
【経年変化】



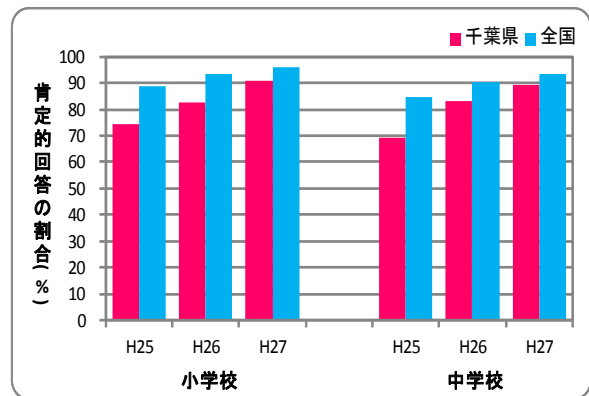
小	中	平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか
51	51	

◇肯定的回答の割合は、小学校が全国と比べて低く、中学校がやや低い。小中学校ともに改善傾向にある。

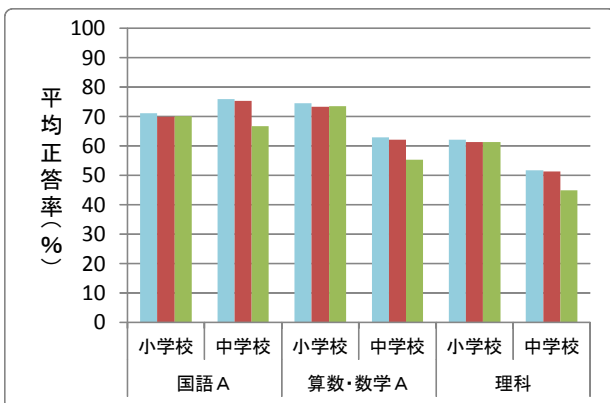
【平成27年度調査結果】



【経年変化】



【回答結果と正答率の関連】（質問50に対して）



【回答結果と正答率の関連】（質問51に対して）

